

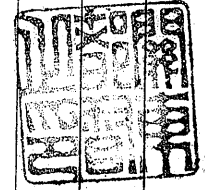
明治四十年四月一日接覽 毛管 政務局

當府府令第十三號 訓令第廿七號 告示第廿五號 發布候ニ付別紙及報告候也

明治四十年三月二十五日

關東都督男爵大島義昌

外務大臣子爵林 董殿



七傳三

合計
人事切

長官事務局
省令
削除
府令

關東洲民政署

府令第十三號
滿洲及滿洲國相互間發着ノ新聞電報ニ關シテハ明治三十九年通信省令第廿二號新聞電報規則ヲ適用ス但シ同規則第二條第三項ニ金二千錢トテ附金三十錢トシ其ノ第十五條ヲ除ク
本令ハ明治四十年三月十六日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十年三月十五日 關東都督 男爵大島義昌

六十号府令 七月廿八日及六

6-0010

府令第十四號
明治三十九年九月府令第八號關東州在留者取締規則中第三條
之ヲ削除ス
明治四十年三月二十二日
關東都督 男爵大島義昌

參照

第三條

外國人(支那人ヲ除ク)ハ當分ノ内大連及旅順ノ

市街地ニ限り居住シ不動産ヲ借受ケ又ハ所有スル

コトヲ得

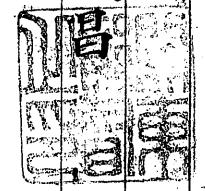
6-0010



當府府令第百十五號訓令自第百九號至第百十八號告示自第百十六號至第百二十三號發布候二付別紙及報告候也

明治四十年四月二日

關東都督男爵大島義



外務大臣子爵林 董殿

人事

會計

受

五三三〇號

Handwritten signature/initials

四十年四月十五日

關東洲民政署

府令第十五號
明治四十年二月府令第五號へ之ヲ廢止ス
附則
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十年三月二十五日
關東都督 男爵大島義昌

6-0010

府令第十六號
關東州地方費令施行規程左ノ通相定ム
明治四十年三月三十一日 關東都督 男爵大島義昌

第一條 關東州地方費令施行規程
關東州地方費令第四條及第五條ニ依リ夫役現品ヲ賦課シ又ハ金穀・物件若ハ勞力寄附ノ受納ニ付テハ豫メ關東都督ノ認可ヲ經ヘシ

第二條 地方費ノ出納ヲ掌ル吏員ハ其ノ現金若ハ物品ニ付キ一切ノ責任ヲ負フ

第三條 出納吏員ハ其ノ責任ニ關スル會計ニ付自身ニ事務ヲ執ラサルヲ理由トシテ其ノ責任ヲ免ルコトヲ得ス

第四條 出納吏員ハ亦火盜難又ハ其ノ他ノ事故ニ依リ其保管ノ現金ヲ亡失シタル場合ニハ保管上避ケ得ヘカクザリシ事實ヲ證明シ責任解除ノ決定ヲ受クルニアラサレハ其ノ負擔ノ責ヲ免ルコトヲ得ス

第五條 出納吏員ノ帳簿金額ハ毎年三月三十一日若ハ當該吏員轉免死亡停職ノトキ直接監督官検査員ヲ命ジテ之ヲ検査セシムヘシ

第六條 關東都督ハ必要ト認ムルトキハ臨時ニ検査員ヲ命ジテ出納吏員ノ帳簿金額ヲ検査セシムルコトアルヘシ

第七條 地方費ニ屬スル現金ノ保管及出納ニ關スル手續ハ別ニ之ヲ定ム

第八條 民政署長ハ徵收簿ノ結果ニ依リ毎年度經過後三ヶ月以內ニ徵收額計算書ヲ作り證憑書ヲ添ヘ民政長官ニ送付スヘシ

第九條 出納吏員ハ支出簿及現金出納簿ノ結果ニ依リ毎月收入計算書及仕拂計算書ヲ作り證憑書及民政署長ノ下検査書ヲ添付シ民政長官ニ提出スヘシ

第十條 前二條ニ規定セル民政署長ノ職務ハ民政部ニアリテハ財務課長之ヲ行フ

第十一條 收入支出ノ總決算ハ總豫算ト同一ノ區分ニ依リ七月三十一日迄豫メ民政長官之ヲ關東都督ニ提出スヘシ

主計簿 徵收簿 支出簿 現金出納簿
前記主要帳簿ノ外收入支出ノ整理上必要ニ應ジ補助簿ヲ設備スルコトヲ得

第二十二條 地方費ノ收入支出ニ關スル證明ノ方法ハ明治三十二年會計検査院第二號同二十三年會計検査院第二號及同三十四年會計検査院第二號第四號ヲ準用ス

第二十三條 地方費ニ屬スル物品ノ保管及出納ニ關スル手續ハ別ニ之ヲ定ム

第二十四條 本令ニ規定セザルモノハ關東都督府特別會計ノ規程ヲ準用ス

附 則
本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十條 關東州地方費令第四條及第五條ニ依リ夫役現品ヲ賦課シ又ハ金穀・物件若ハ勞力寄附ノ受納ニ付テハ豫メ關東都督ノ認可ヲ經ヘシ

第十一條 地方費ノ出納ヲ掌ル吏員ハ其ノ現金若ハ物品ニ付キ一切ノ責任ヲ負フ

第十二條 出納吏員ハ其ノ責任ニ關スル會計ニ付自身ニ事務ヲ執ラサルヲ理由トシテ其ノ責任ヲ免ルコトヲ得ス

第十三條 出納吏員ノ帳簿金額ハ毎年三月三十一日若ハ當該吏員轉免死亡停職ノトキ直接監督官検査員ヲ命ジテ之ヲ検査セシムヘシ

第十四條 關東都督ハ必要ト認ムルトキハ臨時ニ検査員ヲ命ジテ出納吏員ノ帳簿金額ヲ検査セシムルコトアルヘシ

第十五條 地方費ニ屬スル現金ノ保管及出納ニ關スル手續ハ別ニ之ヲ定ム

第十六條 民政署長ハ徵收簿ノ結果ニ依リ毎年度經過後三ヶ月以內ニ徵收額計算書ヲ作り證憑書ヲ添ヘ民政長官ニ送付スヘシ

第十七條 出納吏員ハ支出簿及現金出納簿ノ結果ニ依リ毎月收入計算書及仕拂計算書ヲ作り證憑書及民政署長ノ下検査書ヲ添付シ民政長官ニ提出スヘシ

第十八條 前二條ニ規定セル民政署長ノ職務ハ民政部ニアリテハ財務課長之ヲ行フ

第十九條 收入支出ノ總決算ハ總豫算ト同一ノ區分ニ依リ七月三十一日迄豫メ民政長官之ヲ關東都督ニ提出スヘシ

訓令第十號

會計検査規程左ノ通相定ム
明治四十年三月二十九日

關東都督 男爵大島義昌
官 官 官 官 官
民 民 民 民 民
警 警 警 警 警
法 法 法 法 法
郵 郵 郵 郵 郵
測 候 候 候 候
便 電 電 電 電
信 信 信 信 信
局 局 局 局 局
所 所 所 所 所

會計検査規程

第一條 關東都督ハ検査員ヲ命シ出納官吏ノ帳簿金櫃其ノ他會計事務ニ關聯スル諸般ノ検査ヲ定時又ハ臨時ニ執行セシム
第二條 會計規則第九十一條ノ場合ハ各廳長官ニ於テ検査員ヲ命シ検査ヲ爲サシムヘシ但シ所屬長官ハ必要ト認ムル時ハ其部局長ヲシテ之ヲ任命セシムルコトヲ得
第三條 検査員ハ隨檢章ヲ携帶シ出納官吏又ハ主任官吏其ノ閱覽ヲ求メタルトキハ之ヲ示スヘシ
第四條 検査員ハ休日又ハ職務時間外ト雖當該官廳ニ通知シ検査ヲ行フコトヲ得
第五條 検査員ハ出納官吏ヨリ別記第一號及第二號様式ノ計算書並調査ヲ檢シ之ヲ帳簿及現金ニ照合スヘシ但シ場合ニ依リ本項書類ノ提出ヲ依テス検査ニ著手スルコトヲ得
第六條 出納官吏若シ主任官吏ハ何等ノ事由アリト雖帳簿、金櫃又ハ書類ノ査閲ヲ拒ムコトヲ得ス
第七條 検査員ハ検査上必要ト認ムルトキハ當該長官ノ立會ヲ求メ若シ當該官吏又ハ主任官吏ニ所問書ヲ發シ答復ヲ爲サシム

第一號様式
一 金何圓 拂ノ部
内 譯
金何圓 何年度金庫拂込高
金何圓 何年度分支拂高
金何圓 金庫へ寄托高
金何圓 銀票差減額
金何圓 何々々
殘ノ部
金何圓
右之通相違無之候也
年月日
何處何出納官吏
何廳 官 氏 名 圖
検査員官氏名宛

第二號様式
一 金何圓 現在金調書
内 譯
何年月何日現保管高
金何圓
手許現在高
金何圓
軍用手票何枚(一枚ニ付金何圓)
金何圓 一圓銀貨何箇(一箇ニ付金何圓)
金何圓 金貨
金何圓 兌換金券
金何圓 補助銀貨

査 官

第八條 検査員検査中重大ト認ムヘキ事故ヲ發見シタルトキハ關東都督ニ即報スヘシ但シ第二條但書ニ依リ命セラレタル検査員ハ所屬長官ニ報告シ當該長官ヨリ之ヲ關東都督ニ即報ス
第九條 検査員検査ヲ了シタルトキハ帳簿表紙ノ裏面ニ何年月何日迄ノ出納ヲ検査スト記載シ署名捺印シ第三號様式ノ檢定書ヲ作リ其ノ乙號ヲ出納官吏ニ交付スヘシ
第十條 検査員検査ヲ終了シタルトキハ關係書類ヲ添付シ關東都督ニ復命スヘシ但シ第二條但書ニ依リ命セラレタル検査員ハ所屬長官ヲ經由シ本項ノ復命ヲ爲スヘシ

第十一條 本規程第二條ニ於テ各廳長官ト稱スルハ民政長官民政署長監獄署長高等法院長方法院長郵便電信局長及警務署長トシ部局長ト稱スルハ民政支署長監獄支署長測候所長法院出張所長郵便電信支局長及警務支署長トス
(別記)

第一號様式
明治何年度自何月何日 現金出納計算書
受ノ部
一 金何圓
内 譯
金何圓 何年度繰越高(前任出納官吏何某ノ受繼高)
金何圓 何年度一般歳入受入高
金何圓 何年度國庫預借入受入高
金何圓 銀票差増額受入高
金何圓 民事豫納金受入高
金何圓 拾得金保證金受入高
金何圓 入監者携有高
金何圓 何々々

第三號様式
一 金何圓 銅貨
金何圓 金庫へ義務委託高
金何圓 金庫へ預金高
右之通相違無之候也
年月日
何處何出納官吏
何廳 官 氏 名 圖
検査員官氏名宛
(甲) 檢定書
一 金何圓 現保管高
但シ出納官吏出納簿殘ノ部記載ノ金額ニ符合ス
(若シ符合セザルトキハ金何圓超過又ハ不足別紙理由書ノ如シト記載スヘシ)
内 譯
金何圓 手許現在高
金何圓 金庫へ義務委託高
金何圓 金庫へ預金高
明治何年月何日迄ノ出納ヲ検査候處前記ノ通候也
検査員官氏名 圖
何處何出納官吏 官 氏 名 圖
出納 官 氏 名 圖
員印 官吏印

乙 檢定書 金 何圓 現保管高 但シ出納官吏現金出納簿殘ノ部記載ノ金額ニ符合ス (若符合セザルトキハ金何圓超過又ハ不足別紙理由書 ノ如シト記載スヘシ)	
内譯 金何圓 手許在り高 金何圓 金庫へ義務委託高 金何圓 金庫へ預金高 明治何年何月何日迄ノ出納ヲ對候處前記ノ通候也 年 月 日	
何處何出納官吏 官 氏 名 名圖	檢査員 官 氏 名 官 氏 名圖

検査

訓令第十一號
 郵便電信局
 關東都督府郵便電信局旅順支局旅順鮫島町出張所電報取扱種別
 左ノ通相定ム
 明治四十年三月二十九日 關東都督 男爵大島義昌
 取扱種別 内外國和歐文電報

6-0010



訓令第十二號

明治三十九年九月訓令第九號關東都督府囑託員以下旅費規則中
左ノ通改正ス

附則

本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
關東都督 男爵大島義昌
明治四十年三月三十日
第一條中「四十圓以上ノ月俸又ハ月手當ヲ受クル囑託員」
ヲ「五十圓以上ノ月手當ヲ受クルモノ」ニ改ム
第二條中「四十圓未滿ノ月俸又ハ」ヲ「五十圓未滿ノ」ニ改ム
第三條中「清國人ノ囑託員」ニシテ月和四十圓未滿ノ月俸又
ハ月手當ヲ受クルモノ」ヲ「支那人ニシテ五十圓未滿ノ月手當ヲ
受クル囑託員」ニ改ム

官 民 官
政 務 政 務 部 房
民 政 署
警 務 院
法 政 局
郵 電 局
測 候 所

訓令第十三號

仕拂命令官ノ設置スルノ通相定ム

附則

本令ハ明治四十年度ヨリ之ヲ施行ス
關東都督 男爵大島義昌
明治四十年三月三十日
第一號 仕拂豫算項差引内譯簿
第二號 仕拂豫算日差引内譯簿
第三號 歳出現金別渡金整理簿
第四號 歳出現金別渡金内譯簿
第五號 歳出概算別渡金整理簿
第六號 仕拂命令官歳出推算簿
(様式ハ別ニ之ヲ願フ)

民 民 官
政 政 政
務 務 署 部 房
法 政 院
郵 電 局
測 候 所

設置スル
帳簿

訓令第十四號

民政部 署

關東州地方費現金取扱手續左ノ通相定ム
明治四十年三月三十一日 關東都督 男爵大島義昌

- 第一條 地方費現金ノ保管及出納ハ本規程ニ依リ取扱フヘシ
- 第二條 地方費ノ收入ヲ取扱フ爲收入役、經費ノ支拂ヲ取扱フ爲支拂役ヲ置ク
- 第三條 民政署長ハ現金點檢簿ヲ設備シ每週一回收入役及支拂役ノ金櫃ニ就キ現金ヲ點檢シ帳簿ト照合シ其ノ顛末ヲ登記スヘシ
- 第四條 收入役現金ヲ收入シタルトキハ其ノ受入ヲ記帳スヘシ
- 第五條 收入役ハ毎旬其ノ收入金ニ對シ保管證書ヲ調製シ關東都督ニ送付スヘシ
- 第六條 收入役廻送命令ヲ受ケタルトキハ現金ノ發送ト共ニ其ノ拂出ヲ記帳スヘシ
- 第七條 支拂役ハ廻送命令通知書又ハ送金通知書ニ依リ現金ヲ領收シタルトキハ其ノ受入ヲ記帳スヘシ
- 第八條 支拂役經費ヲ支拂ヒタルトキ又ハ廻送命令ニ依リ現金ヲ發送シタルトキハ其ノ拂出ヲ記帳スヘシ
- 第九條 民政長官ハ現金出納簿ヲ設備シ地方費現金ニ關スル一切ノ出納ヲ登記スヘシ
- 第十條 關東都督ハ必要ト認ムル場合ハ民政長官ノ保管スル現金ノ出納ヲ檢査スルコトアルヘシ
- 第十一條 民政長官ハ毎月地方費ノ出納計算表ヲ作り關東都督ノ査閱ニ供スヘシ
- 第十二條 出納吏員ノ保管スル現金ハ成ヘク確實ナル銀行ニ預金スルヘシ

<p>第何號</p> <p>送金通知書</p> <p>一金何圓也</p> <p>年月日</p> <p>何署支拂役宛</p> <p>民政長官</p> <p>支拂役印</p>	<p>第何號</p> <p>送金領收證</p> <p>一金何圓也</p> <p>右正ニ領收候也</p> <p>年月日</p> <p>何署支拂役</p> <p>民政長官宛</p> <p>備考 送金領收證番號ハ送金通知書ト同一番號ヲ附シ現金領收ト共ニ直ニ都督ニ廻付ヲ要ス</p> <p>廻送命令</p> <p>第何號</p> <p>廻送命令</p> <p>一金何圓也</p> <p>保管證書發行高内</p> <p>(支拂元金ノ内)</p> <p>右某署(民政部)支拂役誰某(民政長官)へ廻送ヲ命ス</p>
---	--

附則
本手續ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

<p>第何號</p> <p>保管證書</p> <p>一金何圓也</p> <p>自何年何月何日</p> <p>至何年何月何日</p> <p>收入役氏名</p> <p>第何號</p> <p>保管證書</p> <p>一金何圓也</p> <p>自何年何月何日</p> <p>至何年何月何日</p> <p>右保管候也</p> <p>收入役氏名</p> <p>都督宛</p> <p>送金通知書</p> <p>第何號</p> <p>送金通知書</p> <p>一金何圓也</p> <p>年月日</p> <p>何署支拂役</p>	<p>第何號</p> <p>支拂役宛</p> <p>年月日</p> <p>支拂役宛</p> <p>都督</p> <p>第何號</p> <p>廻送命令</p> <p>保管證書發行高内</p> <p>(支拂元金ノ内)</p> <p>右某署(民政部)支拂役誰某(民政長官)へ廻送ヲ命ス</p> <p>年月日</p> <p>支拂役宛</p> <p>都督</p> <p>第何號</p> <p>送金領收證</p> <p>支拂役印</p>
---	--

<p>第何號</p> <p>支拂役宛</p> <p>年月日</p> <p>支拂役宛</p> <p>都督</p> <p>第何號</p> <p>廻送命令</p> <p>保管證書發行高内</p> <p>(支拂元金ノ内)</p> <p>右某署(民政部)支拂役誰某(民政長官)へ廻送ヲ命ス</p> <p>年月日</p> <p>支拂役宛</p> <p>都督</p> <p>第何號</p> <p>送金領收證</p> <p>支拂役印</p>	<p>第何號</p> <p>支拂役宛</p> <p>年月日</p> <p>支拂役宛</p> <p>都督</p> <p>第何號</p> <p>廻送命令</p> <p>保管證書發行高内</p> <p>(支拂元金ノ内)</p> <p>右某署(民政部)支拂役誰某(民政長官)へ廻送ヲ命ス</p> <p>年月日</p> <p>支拂役宛</p> <p>都督</p> <p>第何號</p> <p>送金領收證</p> <p>支拂役印</p>
--	--

金何圓也
右正ニ領收候也
年月日
某署支拂役
(民政長官)
某署收入役
支拂役宛

備考 廻送金通知書ニ依リ現金ヲ領收シタルトキハ直ニ廻送
ノ内ヨリ現金ヲ交付シ其ノ領收證書ヲ徴スヘシ
第三條 前條交付ノ金額ニシテ仕拂精算後殘金ヲ生シタルトキ
ハ返納證書ニ現金ヲ添付シ直ニ之ヲ返納セシムヘシ但シ再ヒ
前渡ヲ要スヘキ見込アルトキハ保管證書ヲ調製シ返納證書ニ
添付シ更ニ交付スヘキ現金ト相殺勘定ヲ爲スヘシ
第四條 主任現金前渡官吏ハ第九條ニ依リ分任現金前渡官吏ヨ
リ提出スル計算ヲ併算シ會計検査院ニ證明ノ爲仕拂計算書及
證書ヲ翌月十日迄ニ仕拂命令官ニ送付スヘシ
第五條 現金前渡官吏ハ明治二十六年大藏省令第三十二號第十
四號書式ノ現金出納簿ノ外ニ補助簿ヲ設ケ所屬年度科目毎ニ
收支ヲ明瞭ナラシムヘシ
第六條 主任現金前渡官吏ハ分任現金前渡官吏ニ交付シタル現
金ノ整理ヲ爲ス爲メ前渡金整理簿ヲ設ケ各分任現金前渡官吏
毎ニ口座ヲ設ケ其ノ出納ヲ明瞭ナラシムヘシ
第七條 分任現金前渡官吏ハ其ノ保管スル現金ノ出納ニ付テハ
會計法第二十六條及第二十七條ニ規定セル責任ヲ負フモノト
ス
第八條 分任現金前渡官吏經營ノ前渡ヲ要スルトキハ所要ノ金
額ヲ年度科目毎ニ區分シテ豫定經費請求書ヲ作り所屬長官
若シテ部長長官ニ提出シ主任現金前渡官吏ニ送付シ現金ヲ前渡

ヲ求ムヘシ
第九條 分任現金前渡官吏ハ毎月一回仕拂精算書ヲ調製シ翌月
五日迄ニ證書書類ヲ添付シ主任現金前渡官吏ニ送付スヘシ但
シ仕拂精算書ノ様式及其ノ證明ノ手續ハ明治三十二年會計檢
査院達第二號前渡金仕拂證明規程ヲ準用ス
第十條 現金前渡官吏ニ於テ各年度三月三十一日迄ニ債務ノ確
金通知書ト同一番號ヲ付シ領收證書へ署名捺印シ發行者ニ
送付スヘシ

訓令第十五號
民政部
關東地方費會計ニ於ル圓銀、軍用手票及橫濱正金銀行銀行券出
納計算整理方ニ付テハ明治卅九年九月訓令第三十二號ヲ準用ス
附則
本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
關東都督 男爵大島義昌
明治四十年三月三十一日

6-0010

告示第十七號
 明治四十年四月二日
 乘電話交換業務ヲ開ス
 明治四十年三月二十九日
 關東都督府郵便電信局左記各支局ニ公
 關東都督府郵便電信局旅順支局
 柳樹屯支局
 鐵嶺支局
 公主嶺支局
 關東州旅順
 同 柳樹屯
 滿洲鐵嶺
 同 公主嶺

開始

告示第十八號
 明治四十年四月一日ヨリ左記支局出張所ヲ設置シ下記ノ事務ヲ
 取扱フ但シ郵便物集配及電報事務ヲ取扱ハス
 明治四十年三月二十九日
 關東都督府男爵大島義昌
 關東都督府郵便電信局
 旅順支局鐵嶺出張所
 關東州旅順鐵嶺一丁目
 郵便貯金
 事務取扱

配

告示第十九號
關東州小學校ノ名稱位置左ノ通相定メ明治四十年四月一日ヨリ
授業ヲ開始ス

明治四十年三月三十一日 關東部督 男爵大島義昌

大連尋常高等小學校	大	位	置
旅順尋常高等小學校	旅	順	連
金州尋常高等小學校	金	州	旅
旅順尋常高等小學校西旅順分教場	西	旅	順

告示第十九號
關東州公學堂ノ名稱位置左ノ通相定メ明治四十年四月一日ヨリ
授業ヲ開始ス

明治四十年三月三十一日 關東部督 男爵大島義昌

大連公學堂	大	位	置
旅順公學堂	旅	順	連
三洲堡公學堂	三	洲	堡
公學堂南金書院	金	州	堡

告示第二十一號
明治三十九年五月關東洲民政署告示第二十八號大連棧橋使用規則及同告示第二十九號大連棧橋出入者心得ハ明治四十年三月三十一日限廢止
明治四十年三月三十一日 關東都督 男爵大島義昌

明治四十年四月十八日抄

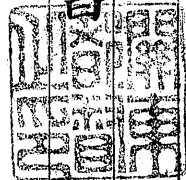
政務廳 生

受第 五八五五 號

當府府令 自第十七號至第十九號 訓令 自第十九號至第廿五號 發布候ニ付別紙及報告候也

明治四十年四月十一日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

外務大臣子爵林 董殿

外務大臣子爵林 董殿

外務大臣子爵林 董殿

明治四十年五月一日

關東洲民政署

關東洲民政署

6-0010

府令第十七號
租稅其ノ他ノ公課徴収ニ關スル細則左ノ通相定ム
明治四十年四月一日 關東都府 男爵大島義昌
租稅其ノ他ノ公課徴収ニ關スル細則
第一條 租稅其ノ他ノ公課ヲ徴収セムトスルトキハ納税人ニ對シテ
第二號様式ノ納領告知書ヲ發スヘシ但シ金庫ニ納付セシムル
場合ノ外口頭ヲ以テ告知スルコトヲ得
第二條 國稅徴収法第四條ノ二該當スル場合ニ於テ租稅其ノ
他ノ公課ヲ徴収セムトスルトキハ第二條ノ告知ヲ爲スト同時
ニ其ノ旨納税人ニ通知スヘシ
第三條 納税人納領告知書ヲ受ケタルトキハ納金ニ納領告知書ヲ
添付指定ノ場所ニ納付スヘシ
第四條 納税人納付ニ關シテ管理人ヲ定メ若シ變更シタルトキハ其
ノ氏名及住所若シ居所ヲ所轄官署ニ申告スヘシ
管理人其ノ氏名住所又ハ居所ヲ變更シタルトキハ之ヲ所轄官
署ニ申告スヘシ
第五條 租稅其ノ他ノ公課徴収ニ關スル書類ハ使丁ヲ以テ送達
スヘシ但シ送達ノ地ニ在ル者ニ對シテ郵便ニ依リ送付スルコトヲ得
第六條 納金ノ計帳ヲ爲ナムトスルトキハ納税人ニ對シテ第二號様
式ノ督促狀ヲ發スヘシ
督促狀ヲ發シタルトキハ手數料トシテ金二十錢ヲ徴収ス
第七條 滞納者ノ財産差押ヲ命ジタル官吏ニハ第三號様式ノ取
得書ヲ交付スヘシ
第八條 債權ノ差押ヲ爲ストキハ債務者ニ對シテ第四號様式ノ債
權差押通知書ヲ發スヘシ

隨契約ヲ以テ財産ヲ賣却セムトスルトキハ買受人ヨリ見
積書ヲ檢シ相當ト認ムル者ニ賣却スヘシ
第十五條 公賣ヲ爲ナムトスル時ハ左ノ事項ヲ公告スヘシ
一 滞納者ノ氏名及住所若シ居所
二 公賣財産ノ名稱、數量、性質
三 入札又ハ競買ノ場所、日時
四 開札ノ場所、日時
五 保證金ヲ要スルトキハ其ノ金額
六 代金納付ノ期限
第十六條 公賣ハ公告ノ初日ヨリ七日ヲ過ケタル後之ヲ執行ス
ヘシ但シ其ノ物件不相當ノ保存費ヲ要スルモノ若シ著シク其
ノ價格ノ減損スル虞アルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス
第十七條 財産公賣ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ加入保證
金又ハ契約保證金ヲ徴スヘシ
加入保證金又ハ契約保證金ハ公賣財産ノ見積價格ノ十分
内ニ於テ適宜其ノ金額ヲ定ムルモノトス
落札人又ハ買受人義務ヲ履行セザルトキハ其ノ保證金ハ之ヲ
政府ノ所得トス
第十八條 財産ヲ公賣セムトスルトキハ其ノ財産ノ見積價格ヲ
定メ之ヲ封書トシテ公賣ノ場所ニ置クヘシ
第十九條 賣却シタル財産ニ付滞納者ヨリ權利移轉ノ手續ヲ爲
スルニ必要アルトキハ期限ヲ指定シテ其ノ手續ヲ爲サシム
ルコトヲ得
前項ノ期限ニ滞納者其ノ手續ヲ爲サザルトキハ當該官吏ハ
滞納者ニ代リ之ヲ爲スコトヲ得
第二十條 入札ノ方法ヲ以テ公賣ニ付スル場合ニ於テ落札トナ

第十條 差押ノニ、財産管轄區域外ニ在ルトキハ財産所在地ノ
所轄官署ニ滞納處分ノ引繼ヲ爲スヘシ
第十一條 差押ノニ、財產數人共有ニ係ルトキハ滞納者ノ持分
ニ就テ滞納處分ヲ爲シ其ノ持分ノ定メキモノハ持分相均シ
キモノトシテ處分スヘシ
第十二條 財産ヲ差押ヘザルトキハ第五號様式ノ差押調書ニ通
ラ作リ立會人ト共ニ之ニ署名捺印シ其ノ二通ハ立會人ニ交付
スヘシ但シ立會人ニ於テ署名捺印ヲ拒ミ又ハ署名捺印スルコト
不能ナルトキハ其理由ヲ附記スヘシ
差押調書ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一 滞納者ノ氏名及住所若シ居所
二 差押財産ノ名稱、數量、性質、重要ナル事情並所在ヲ明
ニスル事項
三 差押ノ事由
四 調書ヲ作リタル場所、年月日
第十三條 財産ヲ差押ヘタル場合ニ於テ滞納者又ハ第三者ヨリ
督促手數料、滞納處分費及納金ヲ完納シタルトキハ其ノ財産
ノ差押ヲ解除スヘシ
第十四條 公賣ハ入札又ハ競買ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ
見積價格十圓以下ノモノハ隨意契約ヲ以テ賣却スルコトヲ得
入札ノ方法ヲ以テ公賣スル場合ニハ買受人ハ其ノ住所氏名
買受財産ノ種類、員額及入札價格ヲ記シタル入札書ヲ封緘シ
テ差出スヘシ
競買ノ方法ヲ以テ公賣スルトキハ競買人ヲ選ニ之ヲ取

ルノ同價ノ入札ヲ爲シタル者ニ名以上アルトキハ其ノ同價
ノ入札人ヲシテ追加入札ヲ爲サシメ落札者ヲ決定ス但シ追加入
札ノ價格仍舊同シキトシテ抽籤ヲ以テ落札者ヲ定ム
第二十二條 財産ヲ公賣ニ付スルモ買受人ナキトキハ其ノ
價格見積價格ニ達セザルトキハ更ニ公賣ヲ爲スヘシ又ハ其ノ
第二十二條 公賣財産ヲ買受人代金納付ノ期限ヲ定ム其ノ代金
ヲ完納セザルトキハ其賣買ヲ解除シ更ニ之ヲ公賣ニ付スヘシ
第二十三條 前二條ニ依リ再公賣ヲ爲ス場合ニ於テハ第十五條
ノ期間ヲ短縮スルコトヲ得
第二十四條 公賣ヲ終了シタルトキハ第六號様式ノ賣却調書ニ
通ラ作リ其ノ一通ヲ買受人ニ交付スヘシ
第二十五條 賣却物件ノ買受人ハ第九號様式ノ納付書ヲ添付シ其
ノ代金ヲ納付スヘシ
第二十六條 國稅徴収法第四條ノ一第一號乃至第六號ニ該當ス
ル場合ニ於テハ執行法院強制管理人、破産主任官又ハ清算人
ニ督促手數料、滞納處分費、及納金ヲ交付ヲ求ムヘシ但シ他
ニ差押ノニ、財産アルトキハ之ヲ差押フルコトヲ妨ケス
第二十七條 督促又ハ滞納處分ニ關シテ使丁ヲ以テ書類ノ送達ヲ
爲ストキハ第七號様式ノ送達書受取人ノ署名捺印ヲ求ムヘシ
第二十八條 滞納處分ヲ終了シタルトキハ第八號様式ニ依リ其
ノ處分ニ關スル計算書ヲ作リ之ヲ滞納者ニ交付スヘシ
附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

用紙適正幅四寸五分ノモノニ枚数四寸五分ノモノ一枚接續

第 何 年度 何 所 某 納

外務省主官 (取 扱 處 名)

金 何 程 何 (目)

右明治何年何月何日迄三何金庫又ハ當廳ヘ納付スヘシ

明治何年何月何日 何 歳入徴收官 官氏名同

第 何 年度 何 所 某 納

金 何 程 何 (目)

明治何年何月何日領收 何 金庫 何

何 (又ハ歳入官氏名同)

用紙適正幅四寸五分ノモノニ枚数四寸五分ノモノ一枚接續

第 何 年度 何 所 某 納

外務省主官 (取 扱 處 名)

金 何 程 何 (目)

右明治何年何月何日迄三何金庫又ハ當廳ヘ納付スヘシ

若シ其ノ期限ヲ過キ完納セザルトキハ直ニ財産差押ノ處分ヲ爲ス

明治何年何月何日 何 歳入徴收官 官氏名同

第 何 年度 何 所 某 納

金 何 程 何 (目)

明治何年何月何日領收 何 金庫 何

何 (又ハ歳入官氏名同)

用紙適正幅四寸五分ノモノニ枚数四寸五分ノモノ一枚接續

第 何 年度 何 所 某 納

外務省主官 (取 扱 處 名)

金 何 程 何 (目)

右明治何年何月何日迄三何金庫又ハ當廳ヘ納付スヘシ

明治何年何月何日 何 歳入徴收官 官氏名同

第 何 年度 何 所 某 納

金 何 程 何 (目)

明治何年何月何日領收 何 金庫 何

何 (又ハ歳入官氏名同)

注

一 領收證書及通知書用紙ノ納入金額納入年度等ハ總テ納額告知書發行者ニ於テ記入スルモノトス

二 歳入官更本番ニ依リ納金ヲ領收スルトキハ現金額收證書ヲ發行スルコトヲ要ス

三 納額告知書右欄外ニ左ノ注意書ヲ附記スルモノトス

四 納金ノ際ハ必ズ本番ヲ添付スヘシ

五 指定期日迄ニ納付セザルハ督促状ヲ發シテ之ヲ催促スルモノトス

用紙適正幅四寸五分ノモノニ枚数四寸五分ノモノ一枚接續

第 何 年度 何 所 某 納

外務省主官 (取 扱 處 名)

金 何 程 何 (目)

右明治何年何月何日迄三何金庫又ハ當廳ヘ納付スヘシ

若シ其ノ期限ヲ過キ完納セザルトキハ直ニ財産差押ノ處分ヲ爲ス

明治何年何月何日 何 歳入徴收官 官氏名同

第 何 年度 何 所 某 納

金 何 程 何 (目)

明治何年何月何日領收 何 金庫 何

何 (又ハ歳入官氏名同)

注

一 領收證書及通知書用紙ノ納入金額納入年度等ハ總テ納額告知書發行者ニ於テ記入スルモノトス

二 歳入官更本番ニ依リ納金ヲ領收スルトキハ現金額收證書ヲ發行スルコトヲ要ス

三 納額告知書右欄外ニ左ノ注意書ヲ附記スルモノトス

四 納金ノ際ハ必ズ本番ヲ添付スヘシ

五 指定期日迄ニ納付セザルハ督促状ヲ發シテ之ヲ催促スルモノトス

府令第十九號

明治三十九年三月關東洲民政署令第十七號關東洲小學校規則ハ明治四十年勅令第四十九號ニ依ル關東州小學校ニ明治三十九年三月關東洲民政署令第十七號關東洲公學堂規則ハ明治四十年勅令第五十號ニ依ル關東州公學堂ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年四月一日

關東部督 男爵大島義昌

6-0010

第二號様式 地方税繰越額整理簿

何年度		款	項	目	繰越額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
何	何	前年度	繰越額		100 00 0			
"	"	何	何	何		10 00 0		90 00 0
"	"	"	"	"		15 00 0		75 00 0
				何月分計	100 00 0	25 00 0		

備考
本簿ハ會計年度毎ニ調製スヘシ
本簿ハ二ヶ月目ヨリ累計ヲ付ス

(第一號様式) 用紙美濃紙

納期	納額	納入	住所	納入氏名
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月				
十一月				
十月				
九月				
八月				
七月				
六月				
五月				
四月				
三月				
二月				
一月				
十二月		</		

告示第三十二號
 明治四十年一月告示第一號電話加入登記料、電話加入名義書換
 料及電話使用料ニ關スル土地ノ種別丙地公主嶺ノ次ニ新民府ヲ
 追加ス
 明治四十年四月一日
 關東都督 男爵大島義昌

(第四號様式) 明治 年度 經 營 部 (臨時部)
 第 號

番 號	目 的	事 由	調 定 額		收 入 額		不 納 賦 額		未 納 額
			本月分	前月迄計	本月分	前月迄計	本月分	前月迄計	
			圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓

(第五號様式)
 明治 年度
 第 號 明治 年 月中收入金月計對表

應 名	金 額	備 考
何 廳	1.000000	
右之通相違無之候也		
明治 年 月 日		
【何廳主任(又 分任)收入官吏		
官 氏 名 圖		
民政署長宛		

6-0010

告示第二十三號
 明治四十年四月一日告示第二號電話加入區域中公主嶺支局ノ次ニ左
 ノ通追加ス
 明治四十年四月一日告示
 關東都督 男爵大島義昌
 局 附屬 入 等 限 悉 詳 各
 普通加入區域
 關東都督府郵便電信局新民府支局 十一 新 附 屬 民 衆 共 同 府 附

告示第二十四號
 明治四十年四月一日告示第二十八號附屬大島嶺支局
 明治四十年四月一日告示第二十八號附屬大島嶺支局
 入申込受理ヲ希望ス者ハ明治四十年一月府令第一號電話規則
 三依リ加入申込書ヲ差出ス
 明治四十年四月一日 關東都督 男爵大島義昌
 關東都督府郵便電信局新民府支局 滿洲新民府

6-0010



告示第二十五號
明治四十年四月一日ヨリ左記郵便電信支局ニ於テ公衆電話交換業務ヲ開始ス
明治四十年四月一日
關東都督 男爵大島義昌
名 稱 位 置
關東都督府郵便電信局新民府支局 滿洲新民府

正誤
府報第九十三號訓令第十五號第四行目關東ノ下州脱落

6-0010

明治四十年四月廿六日接受

書

生

書

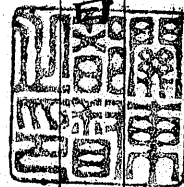
書

署

當府府令第二十號訓令自第二十號至第二十七號明治四十年度地方費収支豫算發布候ニ付別紙及報告候也

明治四十年四月十八日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林董殿

人事

會計

取調

大島義昌

四十七年五月十八日記録編纂

關東洲民政署

府令第二十號
關東州小學校准訓導及關東州公學堂助教採用規則左ノ通相定メ
明治四十年四月一日 關東都督 男爵大島義昌

第一條 關東州小學校准訓導及關東州公學堂助教採用規則
關東州小學校准訓導ハ小學校正教員又ハ准教員ノ免許
狀ヲ有スル者ヨリ之ヲ採用ス

第二條 關東州公學堂助教ハ小學校正教員又ハ准教員ノ免許狀
ヲ有シ若ハ二年以上關東州ニ於テ教育ニ從事シ支那語ヲ以テ
教授ヲ爲シ得ヘキ者ヨリ之ヲ採用ス

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
現ニ關東州公學堂ニ於テ教育ニ從事スル者ハ當分ノ内第二條ノ
規定ニ拘ハラス助教ニ採用スルコトヲ得

6-0010

訓令第二十號
關東州地方費ニ關スル現金及物品ノ出納ヲ掌ル吏員ノ命免ハ民
政長官及民政署長之ヲ行ヒ直チニ報告スヘシ
關東都督 男爵大島義昌
明治四十年四月一日

6-0010

0229

(第六號様式) (左附四帳)

本表ハ收入徴收分掌官在勤毎ニ區分掲上シ向ホ金額ニ付テハ合計ヲ付スルモノトス

明治何年何月分徴收報告書ト金庫月計對照表ト差額仕譯書

應名	年月	差額			事由
		超過	不足		

(第四號様式) (左附六帳)

本表ハ所屬年度毎ニ調製シ其年度所屬收入金ノ拂込ヲ了スルモノトス

現金拂込調査簿

明治何年何月分

年月日	摘要	受	拂	残

(第七號様式) (左附三帳)

外務省主管

明治何年何月分

經常部(臨時部) 第何號

科目	事由	調定額		収入額		不納損額		収入未済額	現金拂込額
		本月分	前月計	本月分	前月計	本月分	前月計		

(第五號様式) (左附三帳)

本表ハ收入官吏毎ニ區分掲上シ向ホ金額ニ付テハ合計ヲ付スルモノトス

明治何年何月分

收入金拂込未済内譯報告書

應名	收入官吏名	年月日	金庫=拂込未済額	事由

6-0010

訓令第二十二號

關東州小學校准訓導及關東州公學堂助教給與規則左ノ通相定ム
 明治四十年四月一日 關東部督 男爵大島義昌 署 部

第一條 關東州小學校准訓導及關東州公學堂助教ノ月俸ハ二十圓以下ト積算ス

第二條 關東州小學校准訓導及關東州公學堂助教ノ俸給支給ノ方法ニ付テハ明治三十九年九月訓令第三十五號囑託員備員給與規則ヲ準用ス

第三條 關東州小學校准訓導及關東州公學堂助教ノ旅費ハ明治三十九年九月訓令第九號關東部督囑託員以下旅費規則中囑託員ノ例ニ依ル

附則
 本令公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

關東部督 署 部

(第八號樣式) 關東部督府歲入 經常部(臨時部)

何年度 何月何日分現金拂込仕譯書

何處

摘要	金額	備考
前月迄拂込未済		
本月中現金領收高		
計高		
本月中現金拂込高		
差引翌月へ越高		

年 月 日
 收入官 宛
 歳入徴收官宛

何處

用紙美濃紙

明治三十九年度現金徴守證整理簿

(第九號樣式) 關東部督府歲入 經常部(臨時部)

何年度 何月何日分現金拂込仕譯書

何處

摘要	金額	備考
前月迄拂込未済		
本月中現金領收高		
計高		
本月中現金拂込高		
差引翌月へ越高		

年 月 日
 收入官 宛
 歳入徴收官宛

何處

用紙美濃紙

明治三十九年度現金徴守證整理簿

何處

何月何日領主何處へ交付
 何月何日領主何處へ交付
 何月何日内金何種領主何處へ交付

某

訓令第二十三號

關東州地方費令施行規程第七條ニ規定スル費目明治四十年度ニ於テ左ノ通リ相定ム

明治四十年四月一日

關東都督 男爵大島義昌

一 教育費
 二 死傷手當
 三 諸拂戻及缺損補填金
 四 賠償及訴訟費

訓令第二十四號

明治四十年度關東州地方費收入支出科目別冊ノ通リ相定ム

明治四十年四月一日

關東都督 男爵大島義昌

6-0010

訓令第二十五號
 一 警察署
 二 民部省
 三 郵政省
 四 法務省
 五 逓信省
 六 陸軍省
 七 海軍省
 八 農商務省
 九 文部省
 十 内務省
 十一 大藏省
 十二 各省
 十三 各府
 十四 各縣
 十五 各支庁
 十六 各市
 十七 各町
 十八 各村
 十九 各官署
 二十 各官廳
 二十一 各官署
 二十二 各官廳
 二十三 各官署
 二十四 各官廳
 二十五 各官署
 二十六 各官廳
 二十七 各官署
 二十八 各官廳
 二十九 各官署
 三十 各官廳
 三十一 各官署
 三十二 各官廳
 三十三 各官署
 三十四 各官廳
 三十五 各官署
 三十六 各官廳
 三十七 各官署
 三十八 各官廳
 三十九 各官署
 四十 各官廳
 四十一 各官署
 四十二 各官廳
 四十三 各官署
 四十四 各官廳
 四十五 各官署
 四十六 各官廳
 四十七 各官署
 四十八 各官廳
 四十九 各官署
 五十 各官廳
 五十一 各官署
 五十二 各官廳
 五十三 各官署
 五十四 各官廳
 五十五 各官署
 五十六 各官廳
 五十七 各官署
 五十八 各官廳
 五十九 各官署
 六十 各官廳
 六十一 各官署
 六十二 各官廳
 六十三 各官署
 六十四 各官廳
 六十五 各官署
 六十六 各官廳
 六十七 各官署
 六十八 各官廳
 六十九 各官署
 七十 各官廳
 七十一 各官署
 七十二 各官廳
 七十三 各官署
 七十四 各官廳
 七十五 各官署
 七十六 各官廳
 七十七 各官署
 七十八 各官廳
 七十九 各官署
 八十 各官廳
 八十一 各官署
 八十二 各官廳
 八十三 各官署
 八十四 各官廳
 八十五 各官署
 八十六 各官廳
 八十七 各官署
 八十八 各官廳
 八十九 各官署
 九十 各官廳
 九十一 各官署
 九十二 各官廳
 九十三 各官署
 九十四 各官廳
 九十五 各官署
 九十六 各官廳
 九十七 各官署
 九十八 各官廳
 九十九 各官署
 一百 各官廳

租税其ノ他ノ公課以外ノ諸收入ノ收納ニ付テハ滞納處分ニ關スル規定ヲ除クノ外總テ租税徴收ノ例ニ依ルヘシ但シ特別ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

關東都督 男爵大島義昌

明治四十年四月一日

訓令第二十六號
 一 警察署
 二 民部省
 三 郵政省
 四 法務省
 五 逓信省
 六 陸軍省
 七 海軍省
 八 農商務省
 九 文部省
 十 内務省
 十一 大藏省
 十二 各省
 十三 各府
 十四 各縣
 十五 各支庁
 十六 各市
 十七 各町
 十八 各村
 十九 各官署
 二十 各官廳
 二十一 各官署
 二十二 各官廳
 二十三 各官署
 二十四 各官廳
 二十五 各官署
 二十六 各官廳
 二十七 各官署
 二十八 各官廳
 二十九 各官署
 三十 各官廳
 三十一 各官署
 三十二 各官廳
 三十三 各官署
 三十四 各官廳
 三十五 各官署
 三十六 各官廳
 三十七 各官署
 三十八 各官廳
 三十九 各官署
 四十 各官廳
 四十一 各官署
 四十二 各官廳
 四十三 各官署
 四十四 各官廳
 四十五 各官署
 四十六 各官廳
 四十七 各官署
 四十八 各官廳
 四十九 各官署
 五十 各官廳
 五十一 各官署
 五十二 各官廳
 五十三 各官署
 五十四 各官廳
 五十五 各官署
 五十六 各官廳
 五十七 各官署
 五十八 各官廳
 五十九 各官署
 六十 各官廳
 六十一 各官署
 六十二 各官廳
 六十三 各官署
 六十四 各官廳
 六十五 各官署
 六十六 各官廳
 六十七 各官署
 六十八 各官廳
 六十九 各官署
 七十 各官廳
 七十一 各官署
 七十二 各官廳
 七十三 各官署
 七十四 各官廳
 七十五 各官署
 七十六 各官廳
 七十七 各官署
 七十八 各官廳
 七十九 各官署
 八十 各官廳
 八十一 各官署
 八十二 各官廳
 八十三 各官署
 八十四 各官廳
 八十五 各官署
 八十六 各官廳
 八十七 各官署
 八十八 各官廳
 八十九 各官署
 九十 各官廳
 九十一 各官署
 九十二 各官廳
 九十三 各官署
 九十四 各官廳
 九十五 各官署
 九十六 各官廳
 九十七 各官署
 九十八 各官廳
 九十九 各官署
 一百 各官廳

地方收入ニ屬スル地方税以外ノ諸收入ノ取扱ハ總テ地方税ノ例ニ依ルヘシ

關東都督 男爵大島義昌

明治四十年四月一日

6-0010

6-0010



訓令第二十七號
郵便電信局
通信工夫出張手當支給規程左ノ通相定ム
明治四十年四月一日 關東都督 男爵大島義昌

通信工夫出張手當支給規程
通信工夫電信電話線路ノ保守建設又ハ修繕等ノ爲出張シタルト
キハ旅費ヲ支給セス左記區分ニ從ヒ宿泊手當外勤手當及乗車
手當ヲ支給ス

一 宿泊手當ハ宿泊夜數ニ應シ一夜ニ付金六十五錢ヲ給ス
二 外勤手當ハ出張日數ニ應シ一週ニ付金五十五錢ヲ給ス
三 乗車手當ハ就業地ニ急行ノ命シ特ニ汽車汽船又ハ舟車馬賃
ノ仕拂ヲ要スルトキニ限リ其ノ實費ヲ給ス但シ汽車汽船賃並
等級アルモノハ各其ノ級別給ニ依ル

又ハ
本令ハ公布之日ヨリ之ヲ施行スルハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢
止ス

豫算

明治四十年度關東州地方費收支豫算左ノ通相定ム
 明治四十年三月二十九日 關東都督 男爵大島義昌

明治四十年度關東州地方費收入豫算		豫算額	
科	款	項目	豫算額
經常部	第一款 地方收入	第一項 租稅	三八,八六〇,〇〇〇
		第二項 官業及官有財產收入	三三,〇三〇,〇〇〇
		第三項 雜收入	九,八九〇,〇〇〇
臨時部	第一款 國庫補助金	第一項 國庫補助金	四八,三三〇,〇〇〇
		第二項 前年度剩餘繰入	三,八八六,〇〇〇
臨時部計			五二,二一六,〇〇〇
經常部計			八一,八九〇,〇〇〇
臨時部計			五二,二一六,〇〇〇
收入總計			一三四,一〇六,〇〇〇

明治四十年度關東州地方費支出豫算		豫算額	
科	款	項目	豫算額
經常部	第一款 地方費	第一項 會社事務費	五,五〇〇,〇〇〇
		第二項 教育費	一,七二〇,〇〇〇
		第三項 衛生費	三,〇〇〇,〇〇〇
		第四項 勸業費	一,三〇〇,〇〇〇
		第五項 救濟費	一,〇〇〇,〇〇〇
		第六項 電氣作業費	七,〇〇〇,〇〇〇
		第七項 水道維持費	四,〇〇〇,〇〇〇
		第八項 公園費	八,〇〇〇,〇〇〇
		第九項 地方費取扱費	五,〇〇〇,〇〇〇
第二款 諸支出金	第一項 巡查給助	三〇〇,〇〇〇	
	第二項 死傷手當	一〇,〇〇〇,〇〇〇	
	第三項 諸拂戻及缺損補填金	一〇〇,〇〇〇	
第三款 豫備費	第四項 賠償及訴訟費	五〇,〇〇〇	
	第一項 豫備費	一〇,〇〇〇,〇〇〇	
經常部計			三六,二六六,〇〇〇

6-0010

臨時部	第一款 營繕及土木費	第一項 新營及修繕費	七五五〇〇〇
	第二款 補助費	第二項 土木費	九六四〇〇〇
臨時部計		第一項 補助費	七七一〇〇〇
			一五〇〇〇〇〇
支出總計			一五〇〇〇〇〇

正誤

府報第二十六號府令第二十五號魏子窩支署管轄區域中朝陽菴ノ
 三字ハ符又同第九十五號府令第十七號第一號樣式中一金何程ノ
 下ニ(金庫取)納額告知書領收證書、通(金庫取)證書各様續部(金庫取)領收證書
 (又ハ收入官吏割印)ヲ、領收證書一金何程ノ前ニ在シ空欄内ニ
 (取扱應名)ヲ脱ス又同第九十七號訓令第二十一號第十八條第八
 行目差額仕替替ハ書同訓令第九號樣式摘要中何誤ハ某ノ號レモ
 誤植

6-0010



明治四十年五月二日接獲

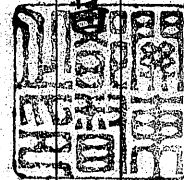
香取

上

當府府令第二十一號訓令自第二十一號至第二十九號發布候二付別紙及報告候也

明治四十年四月二十三日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

人事

會計

關東洲民政署

四十年六月十二日記録編纂

關東洲民政署

6-0010

府令第五十號 聯合ニ附キテ
 旅順及大連水道給水規則左ノ通相定ム
 明治四十四年四月廿六日 閣議 閣議決定
 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第一條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第二條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第三條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第四條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第五條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第六條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第七條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第八條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第九條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第十條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第十一條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第十二條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第十三條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第十四條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第十五條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第十六條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第十七條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第十八條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第十九條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第二十條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第二十一條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第二十二條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第二十三條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第二十四條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第二十五條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第二十六條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第二十七條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第二十八條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第二十九條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第三十條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第三十一條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第三十二條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第三十三條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第三十四條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第三十五條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第三十六條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第三十七條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第三十八條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第三十九條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第四十條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第四十一條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第四十二條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第四十三條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第四十四條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第四十五條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第四十六條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第四十七條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第四十八條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第四十九條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則
 第五十條 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則 旅順及大連水道給水規則

第九條 共用給水使用者ハ總代人ヲ定メ水料工費ノ納付其ノ他
 給水ニ關スル一切事務ヲ處理セシムルハ其ノ義務ナリ
 共用給水總代人ハ不適當ナル時ハ之ガ變更ヲ命ズルコ
 トアルハ本規則ニ依リテ其ノ權限ニ於テハ其ノ義務ニ依
 リテ其ノ權限ニ依リテ其ノ義務ニ依リテ其ノ義務ニ依
 リテ其ノ義務ニ依リテ其ノ義務ニ依リテ其ノ義務ニ依
 第十條 水道本支水管ヨリ接続スル給水管及給水用具(以下單
 ニ給水用具ト稱ス)ハ水道管理者ニ於テ其ノ義務ニ依
 リテ其ノ義務ニ依リテ其ノ義務ニ依リテ其ノ義務ニ依
 第十一條 給水用具ヲ裝置スベキ位置ハ給水使用者之ヲ指定ス
 ン但シ指定ノ位置不適當ナリト認めルトキハ之ガ變更ヲ命
 スルコトアルヘシ
 第十二條 借地又ハ借家ニ給水用具ヲ裝置セムトスルトキハ其
 ノ貸主ノ承諾ヲ得ルヲ要ス
 他人ノ給水用具ヨリ支分引用セムトスルトキハ所有者ノ承諾
 ヲ得ルヲ要ス
 第十三條 量水器ハ水道管理者ニ於テ之ヲ設備シ無償ニテ給水
 使用者ニ貸付ス若シ私有ノ量水器ヲ使用セムトスルトキハ其
 ノ承諾ヲ受ケベシ
 第十四條 計量給水ニ限リ給水使用者自ラ量水器ヨリ流メハ裝
 置ヲ爲シ又ハ水槽ヲ設ケ其ノ流メハ裝置ヲ爲スコトアル得但シ
 豫メ其ノ承諾ヲ受ケベシ
 第十五條 給水工事施行ノ順序ハ工費納付ノ順序ニ依ル但シ左
 ノ各號ノ場合ニ於テ之ヲ變更スルコトアルヘシ
 一 官衙公署及公益事業等ノ用ニ供スル給水ニシテ急務ヲ要
 スルモノ
 一 給水用具又ハ量水器ハ異狀アリト認めルトキ
 二 給水ノ種類ヲ變更スヘキ事由ノ生シタルトキ
 三 専用給水使用者ノ人口牛馬ノ數ニ増減アリタルトキ
 四 共用給水ノ鑑札ヲ亡失又ハ毀損シタルトキ
 五 給水用具又ハ水槽ヲ設ケ其ノ流メハ裝置ヲ爲スコトアル得但シ
 六 給水用具ヲ賣買讓與貸借シ又ハ貸借ニ係ルモノヲ解除シ
 タルトキ
 七 共用給水總代人ヲ變更シタルトキ
 第二十六條 給水中止ニ係ルモノヲ開通セムトスルトキ又ハ演
 習ノ爲メ専用消火栓ヲ使用セムトスルトキハ其ノ承諾ヲ受ケ
 ン
 第二十七條 左ノ各號ノ場合ニハ給水ヲ停止シ若ハ給水用具ヲ
 切斷スルコトアルヘシ
 一 給水使用者ノ所在不明ニシテ適當ナル保管人ナキトキ
 二 相當ノ事由ナクシテ一箇月以上給水ヲ使用セザルトキ
 第二十八條 水料ハ左ノ區分ニ依リ徵收ス
 一 専用給水
 一 箇月ニ付一戶四人迄金一圓五十錢五人以上二人ヲ増ス
 一 二箇月ニ付一戶金二十五錢
 一 三箇月ニ付一戶金七十五錢
 一 共用給水
 一 箇月ニ付一戶金六十錢
 三 計量給水
 甲 官衙公署 消費水量一立方米金十錢但シ兵營ハ金五錢
 乙 湯 屋 消費水量一箇月百立方米迄金五圓百立方米
 以上一立方米毎ニ金五錢ヲ加フ
 丙 汽鐘又ハ水槽ニ使用シ若ハ専用船舶給水栓ヨリ供給ス
 ルモノ

府令第五十二號
旅順電燈使用規則左を通知す
明治四十二年四月十六日
關東都督 男爵大島義昌

旅順電燈使用規則

第一條 旅順電燈ハ關東都督之管轄ス
第二條 電氣供給區域ハ別ニ之ヲ定ム
第三條 電燈本種類白熱電燈弧光電燈之區下シ其ノ點火方法
ヲ區別シ左ノ如ク
一 一定時電燈 日没ヨリ日出迄點火スルモノ
二 臨時電燈 臨時期間ヲ定メ點火スルモノ
第四條 電燈ヲ使用セムル者ハ電燈管理者ニ請求スヘシ其
ノ變更中止又廢止ハ場合亦同シ
電燈使用者ノ名義ヲ變更セムルトキハ管理者ニ届出ヘ
シ
第五條 他人ノ所有スル家屋內電燈ヲ設置スル者ハ
其ノ家屋所有者ノ承諾ヲ得ルヲ要ス
第六條 電燈其ノ他附屬物品電燈管理者ニ於テ之ヲ設備ス但
シ使用者ノ希望ニ依リ全部若シテ部分ヲ拂下ケ作營スル者
ハ之ヲ得ル
第七條 電燈三關スル工費ハ前納トス但シ其ノ必要ヲ認メサル
モノハ此ノ限ニアラス
第八條 電燈工事施行ハ順序工費納付及順番ニ依ル但シ左記
各號ノ場合ニ於テハ之ヲ變更スルコトアルヘシ
一 官衙公署及公益事業用ニ供スルモノ
二 官衙公署及公益事業用ニ供スルモノ
三 臨時點火ノ場合
四 工事施行上ノ都合
第九條 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵

二十五燭光 金三圓
三十燭光 金三圓六十錢
五十燭光 金四圓
一百燭光 金七圓五十錢
二百燭光 金九圓
二百燭光 一燈ニ付一箇月 金十五圓
居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
一 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
二 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
三 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
四 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
五 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
六 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
七 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
八 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
九 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
十 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵

二十五燭光 金三圓
三十燭光 金三圓六十錢
五十燭光 金四圓
一百燭光 金七圓五十錢
二百燭光 金九圓
二百燭光 一燈ニ付一箇月 金十五圓
居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
一 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
二 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
三 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
四 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
五 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
六 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
七 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
八 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
九 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵
十 居內白熱電燈取付費ハ左ノ如ク因リ家屋毎ニ之ヲ徵

電燈

電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢

電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢
電燈以下ノ白熱電燈ニ付金三圓五十錢

訓令第二十八號
 現金前渡官吏
 仕拂命令官第一號様式ニ依リ毎月仕拂命令發行額報告書ヲ
 調製シ翌月五日迄ニ都督ニ送附スルニ付
 現金前渡官吏ハ第三號様式ニ依リ毎月受拂精算書ヲ調製シ翌月
 五日迄ニ所屬仕拂命令官ヲ經テ都督ニ送附スヘシ但シ臨時前渡
 受ケタル者ハ此ノ限リニ在ラス
 明治四十年四月一日
 關東都督 男爵大島義昌

(第一號様式) 何處何月分現金前渡官吏受拂精算書

科目	前月迄累計	本月分	前月迄累計	本月分	現在高	備考
一						
二						
三						
四						
五						
六						
七						
八						
九						
十						
十一						
十二						
十三						
十四						
十五						
十六						
十七						
十八						
十九						
二十						
二十一						
二十二						
二十三						
二十四						
二十五						
二十六						
二十七						
二十八						
二十九						
三十						
三十一						
三十二						
三十三						
三十四						
三十五						
三十六						
三十七						
三十八						
三十九						
四十						
四十一						
四十二						
四十三						
四十四						
四十五						
四十六						
四十七						
四十八						
四十九						
五十						
五十一						
五十二						
五十三						
五十四						
五十五						
五十六						
五十七						
五十八						
五十九						
六十						
六十一						
六十二						
六十三						
六十四						
六十五						
六十六						
六十七						
六十八						
六十九						
七十						
七十一						
七十二						
七十三						
七十四						
七十五						
七十六						
七十七						
七十八						
七十九						
八十						
八十一						
八十二						
八十三						
八十四						
八十五						
八十六						
八十七						
八十八						
八十九						
九十						
九十一						
九十二						
九十三						
九十四						
九十五						
九十六						
九十七						
九十八						
九十九						
一百						

備考 前渡金返納及仕拂回金ハ本月分ノ額ニ未ダ付テ翌月分精算書ノ前月迄累計額ニ於テ差引上ルベシトス

(第一號様式) 何處何月分仕拂命令發行額報告書

科目	前月迄累計	本月分	前月迄累計	本月分	現在高	備考
一						
二						
三						
四						
五						
六						
七						
八						
九						
十						
十一						
十二						
十三						
十四						
十五						
十六						
十七						
十八						
十九						
二十						
二十一						
二十二						
二十三						
二十四						
二十五						
二十六						
二十七						
二十八						
二十九						
三十						
三十一						
三十二						
三十三						
三十四						
三十五						
三十六						
三十七						
三十八						
三十九						
四十						
四十一						
四十二						
四十三						
四十四						
四十五						
四十六						
四十七						
四十八						
四十九						
五十						
五十一						
五十二						
五十三						
五十四						
五十五						
五十六						
五十七						
五十八						
五十九						
六十						
六十一						
六十二						
六十三						
六十四						
六十五						
六十六						
六十七						
六十八						
六十九						
七十						
七十一						
七十二						
七十三						
七十四						
七十五						
七十六						
七十七						
七十八						
七十九						
八十						
八十一						
八十二						
八十三						
八十四						
八十五						
八十六						
八十七						
八十八						
八十九						
九十						
九十一						
九十二						
九十三						
九十四						
九十五						
九十六						
九十七						
九十八						
九十九						
一百						

備考 定額戻入(米)及科目更正増減(減)ハ本月分ノ額ニ未ダ付テ翌月分報告書前月迄累計額ニ於テ差引上ルベシトス

6-0010

6-0010

0244

訓令第三十號
旅順電氣作業所規程左ノ通相定ム
明治四十年四月一日
關東都督 男爵大島義昌

第一條 旅順電氣作業所ヲ置キ左ノ事務ヲ掌ラシム
一 電氣供給ニ關スル事項
二 電燈作業維持ニ關スル事項
三 作業用物品ノ出納保管ニ關スル事項
四 作業用土地建物及電用器具ノ管理ニ關スル事項

第二條 電氣作業所長ノ職責ヲ置ク
一 電氣供給ニ關スル事項
二 電燈作業維持ニ關スル事項
三 作業用物品ノ出納保管ニ關スル事項
四 作業用土地建物及電用器具ノ管理ニ關スル事項

第三條 電氣作業所長ハ都督ノ命ヲ承テ所中一切ノ事務ヲ掌理シ所員ヲ指揮監督ス
第四條 電氣作業所長ハ所長ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス
第五條 電氣作業所長ハ所長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

訓令第二十九號
旅順及大連水道事務所規程左ノ通相定ム
明治四十年四月一日
關東都督 男爵大島義昌

第一條 旅順及大連水道事務所ヲ置キ左ノ事務ヲ掌ラシム
一 水道維持ニ關スル事項
二 水道維持及給水工用物品ノ出納保管ニ關スル事項
三 水道用地及建物並水道用具ノ管理ニ關スル事項

第二條 水道事務所長ノ職責ヲ置ク
一 水道維持ニ關スル事項
二 水道維持及給水工用物品ノ出納保管ニ關スル事項
三 水道用地及建物並水道用具ノ管理ニ關スル事項

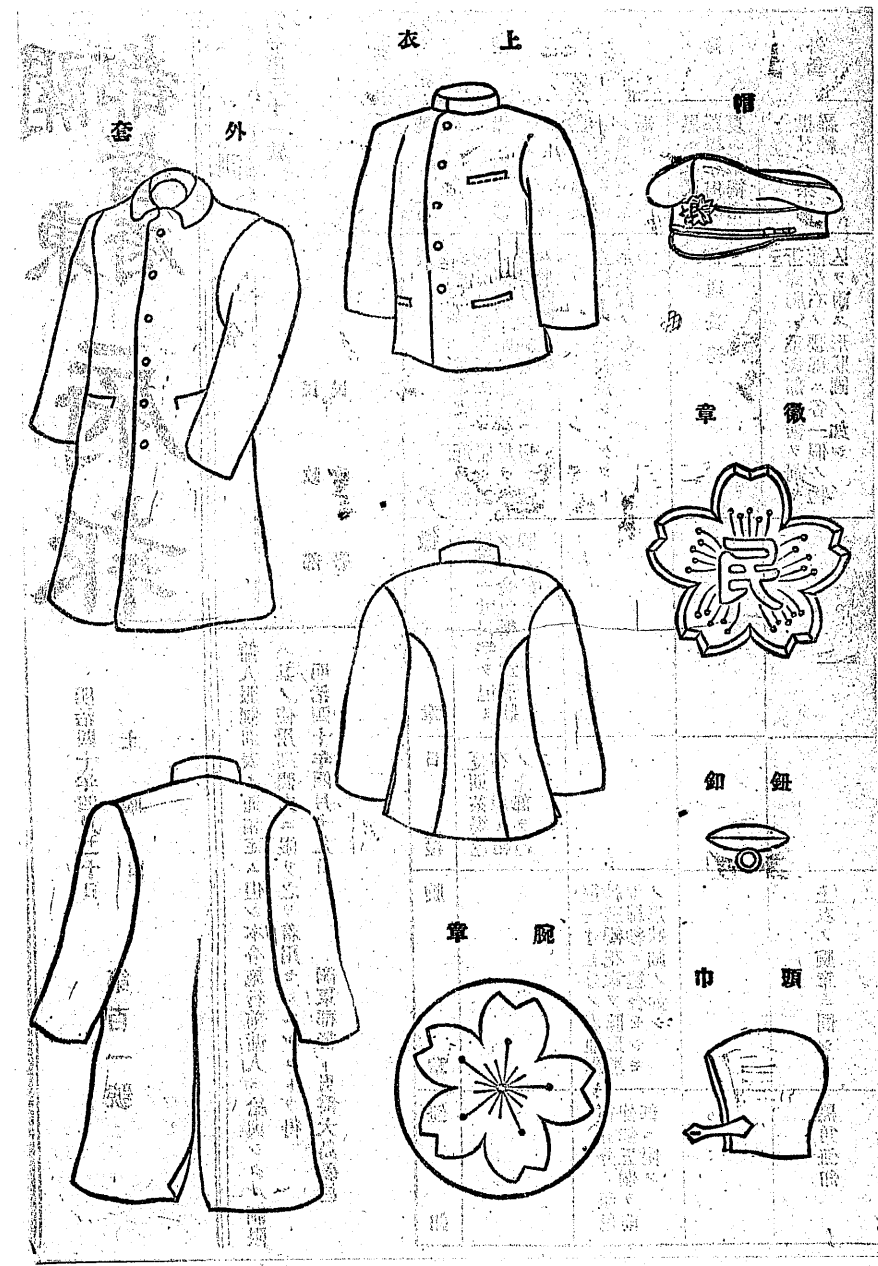
第三條 事務所長ハ民政部土木課長ヲ以テ之ニ充テ都督ノ命ヲ承ケ所中一切ノ事務ヲ掌理シ所員ヲ指揮監督ス
第四條 技術員ハ所長ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス
第五條 事務員ハ所長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

訓令第三十一號

民政部

備人服制別表ノ通相定ム但シ本令施行前備人ニ給與シタル制限ハ其ノ使用期間内ニ限り之ヲ着用セシムルコトヲ得
 明治四十年四月十九日 關東都督 男爵大島義昌

服



名稱	質地	製式	徽章	日覆	腕章	鈕
外套	黒紗又茶楊	折襟胸ニ重後部襟裾ヲ割キ入ヲ左右ノ腰部ニ各一個ノ物			上衣ノ腕章ニ同シ	黒角鈕
袴	黒ハ茶楊布但夏ハ茶楊布	普通長袴				
上衣	黒ハ茶楊布但夏ハ茶楊布	立襟一ノ鈕長シジャケットノ形狀圖ノ如シ			ノ形狀圖ノ如シ	部ニ附ス
帽	黒羅紗	大黒帽形、黒草製前庇及帽ノ兩端ハ銀釦各一個ヲ以テ留ム形狀圖ノ如シ	縦横一寸民字ヲ包ミタル金色櫻花章形狀ノ如シ	布夏期茶楊色フノ上部ヲ覆	徑一寸五分ノ赤地羅紗製花章ヲ圓形形合セシモノノ形狀圖ノ如シ	徑五分ノ銀色釦ニ附ス

6-0010

告示第二十六號
明治四十年四月府令第二十一號旅順及大連水道給水規則第五條
ニ依ル共用水請求書ハ當分ノ内官用ヲ除クノ外之ヲ受理セス
明治四十年四月十九日 關東都督 男爵大島義昌、

告示第二十七號
明治四十年四月十五日限リ關東都督府郵便電信局左記支局ヲ廢
止ス但シ該支局ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記支局之ヲ承繼ス
明治四十年四月十九日 關東都督 男爵大島義昌
名 稱 位 置 承繼局
關東都督府郵便電信局瀨子山支局 瀨洲瀨子山 關東都督府郵便電信局瀨陽支局

告示第二十八號
 旅順及大連水道給水規則ニ依ル書式、標識、鑑札及請票左ノ通
 相定スル
 明治四十年四月二十一日 關東都督 男爵大島義昌

<p>給水用具設置承諾書 右何町何號地自所有地(家屋)内ニ給水用具設置シ義請求 三付テ(毫末異議無之候依テ承諾書差出候也 附書 明治何年何月何日 旅順(大連)何町何號地 何 某 水道管理者何某殿 何 某</p>	<p>給水用具設置承諾書 右何町何號地自所有地(家屋)内ニ給水用具設置シ義請求 三付テ(毫末異議無之候依テ承諾書差出候也 附書 明治何年何月何日 旅順(大連)何町何號地 何 某 水道管理者何某殿 何 某</p>	<p>給水用具設置承諾書 右何町何號地自所有地(家屋)内ニ給水用具設置シ義請求 三付テ(毫末異議無之候依テ承諾書差出候也 附書 明治何年何月何日 旅順(大連)何町何號地 何 某 水道管理者何某殿 何 某</p>
---	---	---

<p>給水請求書 一 給水種類 專用(計量) 一 給水場所 何町何號地 何 某 一 使用者氏名 何某(使用者未定ナルトキ) 一 職業 何 何 一 牛馬數 何 何頭 一 栓數 何 何箇 一 使用ノ目的 家用(營業用、汲灌用、噴水用等) 右水道給水規則ニ依リ給水用具設置シ給水相成度候也 明治何年何月何日 旅順(大連)何町何號地主 何 某 借家人 何 某 請求者 何町何號地 何 某 水道管理者何某殿 何 某</p>
--

<p>共用給水請求書 一 給水場所 何町何號地 何 某 一 使用者氏名 何 何 一 職業 何 何 一 牛馬數 何 何頭 一 使用ノ目的 何 何 右水道給水規則ニ依リ給水相成度候也 明治何年何月何日 旅順(大連)何町何號地 何 某 請求者 何町何號地 何 某 總代人 何 何 何 何 何 何 水道管理者何某殿 何 某</p>

<p>量水器借用證書 何町何號地所在計量給水第何號 何 何 一口徑何吋量水器 何 何 右借用候ニ付テ、自分ニ於テ保管ノ責ニ任シ若シ亡失毀損 致候場合、御指定ノ金額賠償可致候也 明治何年何月何日 旅順(大連)何町何號地 何 某 水道管理者何某殿 何 某</p>	<p>計量給水流末裝置新設(増設、何々)届 一 給水場所 何町何號地 何 某 一 給水番號 第何號 何 某 一 使用ノ目的 何 何 右給水用具流末裝置新設(増設、何々)致度ニ付承認相成度 別紙設計書圖面及ヒ所用材料調書相添ヘ届出候也 明治何年何月何日 旅順(大連)何町何號地 何 某 水道管理者何某殿 何 某</p>	<p>專用消火栓設置請求書 一 設置場所 何町何號地 何 某 一 内徑及栓數 何吋何箇 何 某 右水道規則ニ依リ設置相成度候也 明治何年何月何日 旅順(大連)何町何號地 何 某 請求者 何 某 水道管理者何某殿 何 某</p>
---	---	---

<p>給水種類變更事由由屆</p> <p>何町何號地所在何々給水第何號 何 某</p> <p>給水使用者 何 某</p> <p>右ノ各般何々營業開始(何々)ノ爲メ給水種類變更ヲ要シ候ニ付届出候也</p> <p>明治何年何月何日 旅順(大連)何町何號地 何 某</p> <p>水道管理者何某殿 何 某</p>	<p>專用給水異動届</p> <p>何町何號地所在第何號</p> <p>一人 口 元何人 改何人 何 某</p> <p>一牛馬數 元何頭 改何頭 何 某</p> <p>右何月何日ヨリ異動ニ付届出候也</p> <p>明治何年何月何日 旅順(大連)何町何號地 何 某</p> <p>水道管理者何某殿 何 某</p>	<p>共用給水給札亡失(毀損)届</p> <p>何町何號地所在第何號</p> <p>一鑑札 何枚 何町何號地何某名義ノ分 何 某</p> <p>右亡失(毀損)候ニ付再渡相成度候也</p> <p>明治何年何月何日 旅順(大連)何町何號地 何 某</p> <p>使用者 何 某</p> <p>(總代人) 何 某</p> <p>水道管理者何某殿 何 某</p>	<p>共用給水總代人變更届</p> <p>何町何號地所在第何號</p> <p>一專用(計量)給水 何 某</p> <p>右何月何日ヨリ中止ニ付何月何日ヨリ開通相成度候也</p> <p>明治何年何月何日 旅順(大連)何町何號地 何 某</p> <p>水道管理者何某殿 何 某</p>
---	---	---	--

<p>給水廢止(中止)届</p> <p>何町何號地所在第何號</p> <p>一專用(計量)給水 何 某</p> <p>右何月何日ヨリ廢止(中止)候ニ付届出候也</p> <p>明治何年何月何日 旅順(大連)何町何號地 何 某</p> <p>水道管理者何某殿 何 某</p>	<p>給水用具賣買(讓與、貸借、貸借解除)届</p> <p>何町何號地所在第何號</p> <p>一專用(計量)給水 何 某</p> <p>右給水用具賣買(讓與、貸借、貸借解除)致候ニ付テハ給水使用ニ關スル一切ノ權利義務ハ買受(讓受、借受、貸渡)人ニ於テ繼承可致候此段届出候也</p> <p>明治何年何月何日 旅順(大連)何町何號地 何 某</p> <p>賣(讓、貸)渡人 何 某</p> <p>買(讓、借)受人 何 某</p> <p>水道管理者何某殿 何 某</p>	<p>專用消火栓使用演習請求書</p> <p>何町何號地所在第何號</p> <p>一專用消火栓 何 口</p> <p>右何月何日午前(後)第何時ヨリ使用演習致度候也</p> <p>明治何年何月何日 旅順(大連)何町何號地 何 某</p> <p>水道管理者何某殿 何 某</p>	<p>船舶給水請求書</p> <p>一所要水量 何立方尺</p> <p>右給水相成度請求候也</p> <p>明治何年何月何日 何町何號地(何々會社何々丸船長) 何 某</p> <p>水道管理者何某殿 何 某</p>
---	---	--	---

6-0010

告示第二十九號
 明治四十年四月府令第二十一號旅順及大連水道給水規則同年府
 令第二十二號旅順電燈規則ニ關スル事務ハ當分ノ内左記ノ所ニ
 於テ取扱フ
 明治四十年四月二十一日 關東都督 男爵大島義昌
 旅順水道事務所 旅順新市街陸軍經理部元水道班内
 旅順電氣作業所 旅順桃園町陸軍經理部元電燈班内

明治四十年五月九日發受

主官 政務局

官文第 四三〇 號

生

文

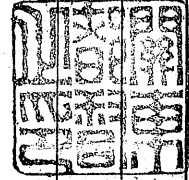
七〇

編

當府府令 至第 三十三 號 訓令 至第 三十四 號 發布候ニ付別
 紙及報告候也

明治四十年五月一日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林

董殿

人事

今

有令至三十三號
 關東都督男爵大島義昌

關東洲民政署

四十二年七月三十一日 記録編纂部

6-0010

府令第二十三號
明治三十九年十月十二日 府令第三十一號大連水道管理規則中左ノ通改
正ス
明治四十年四月二十五日 關東都督 男爵大島義昌
第一條中關東都督府民政部ヲ關東都督ニ改ム
第二條第三條第四條第六條第七條第八條中關東都督府民政部ヲ
水道管理者ニ改ム
第五條中關東都督府民政長官ヲ水道管理者ニ改ム

府令第二十四號
明治四十年一月府令第四號關東都督府民政部土木課大連出張所規
程第一條中第二號ヲ削ル
明治四十年四月二十五日 關東都督 男爵大島義昌

6-0010

訓令第三十二號

民 政 部 署

明治四十年度關東州地方費收入支出科目表中支出經常部第二款
第一項第二目ノ次位ニ弔祭料ノ目ヲ設クス

明治四十年四月二十五日

關東都督

男爵大島義昌

置

6-0010



6-0010

訓令第三十四號 警察 部
 出令
 左記各訓令之警察事務ニ適用ス但訓令中本署又ハ支署トシテハ警務署又ハ支署ト心得ヘシ
 明治四十年四月二十七日 將關東都督 男爵大島義昌
 明治三十八年關東州民政署訓令第十號藝妓、酌婦及雇婦女取締規則施行心得
 同年同訓令第十四號料理店、飲食店、宿屋、下宿屋、貸席、待合茶屋、引手茶屋營業取締規則施行心得
 明治三十九年同訓令第一號娼妓取締規則施行手續
 同年同訓令第二號貸座敷取締規則施行手續

明治四十年四月訓令第二十四號別冊

明治四十年度關東州地方費收入科目

臨時部		經常部	
第一款 國庫補助	第二款 前年度剩餘繰入	第一款 地方收入	第二款 官業及官有財產收入
第一款 國庫補助	第二款 前年度剩餘繰入	第一項 租稅	第二項 官業及官有財產收入
第一目 雜入	第二目 前年度剩餘繰入	第一目 營業稅	第一目 官業收入
第一目 雜入	第二目 前年度剩餘繰入	第二目 雜種稅	第二目 官有財產收入
第一目 雜入	第二目 前年度剩餘繰入	第三目 水道收入	第三目 電燈收入
第一目 雜入	第二目 前年度剩餘繰入	第四目 彩票納付金	第四目 水道收入

6-0010



明治四十年度關東州地方費支出科目

第一級地方費

第一項 會社費	第一項 會社費
第二項 教育費	第一項 會社費
第三項 衛生費	第二項 教育費
	第三項 衛生費
	第四項 公營費
	第五項 幼稚園費
	第六項 小學校費
	第七項 公學堂費
	第八項 燒却費
	第九項 傳染病豫防費
	第十項 葬場費
	第十一項 屠獸場費

第四項 勸業費	第一項 農事試驗場費
	第二項 造林費
	第三項 水產試驗場及漁場測量費
	第四項 商館費
	第五項 勸業調查費
第五項 教育費	第一項 教育費

6-0010

0259

第二款 諸支出金

第六項	第七項	第八項	第九項	第十項	第十一項
電氣作業費	水道維持費	公園費	地方費取	遺族料	退職料
第一目	第一目	第一目	第一目	第一目	第一目
電氣作業費	水道維持費	公園費	地方費取	遺族料	退職料

第三款 豫備費

臨時部
第一款 管轄及土費

第一項	第二項	第三項	第四項	第五項	第六項
新管轄及修繕費	豫備費	賠償及許	諸冊戻金	諸冊戻金	死傷手当
第一目	第一目	第一目	第一目	第一目	第一目
大車小修費	賠償金	許認費	諸冊戻金	諸冊戻金	死傷手当

6-0010



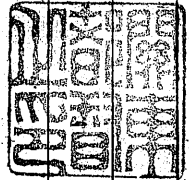


當府府令第...
紙及報告候也

明治四十年五月七日

關東都督男爵大島義昌

外務大臣子爵林 董殿



人事書
の
計
手
付

關東洲民政署

府令第二十七號
電報料金後納規則左ノ通相定ム
明治四十年四月三十日
關東都督 男爵大島義昌

電報料金後納規則
第一條 官報トシテ取扱フ電報ノ料金ハ之ヲ後納ト爲スコトヲ得

第二條 電報料金後納ノ取扱ヲ受ケントスルモノハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ其人ノ所在地ノ郵便電信官署ニ差出シ料金後納帳ノ交付ヲ受クヘシ

一 電報料金後納取扱開始月日
二 電報料金後納ノ取扱ヲ爲スヘキ電報ノ區別(内國電報外國電報又ハ内外國電報)

第三條 電報料金後納者ハ類信ノ部度電報料金後納帳ヲ差出シ相當欄ニ記入ヲ受クヘシ

第四條 後納電報料金ハ其ノ取扱ヲ受ケタル郵便電信官署ノ告知ニ依リ當月分ヲ翌月二十日迄ニ通貨ヲ以テ納付スヘシ

第五條 後納電報料金ヲ期日迄ニ納付セザルトキハ其ノ料金ノ納付ヲ爲シ後納ノ取扱ヲ停止スルコトアルヘシ

附則
本令ハ明治四十年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

6-0010



明治四十年五月十六日接獲

警務局

上

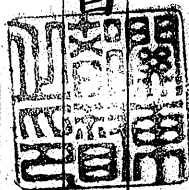
國官文第 四六〇號

受第七四〇四號

當府訓令第三十七號告示自第三十四號發布候ニ付別紙及報告候也

明治四十年五月八日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林

董殿

人事 あり

會計

印

手

四十二年七月三十一日記録編纂接受

關東洲民政署

訓令第三十六號
歳入徴收官交替ノ場合ニ於テ、明治三十三年五月大蔵省訓令第四十五號ノ規定ニ準據シ取扱フヘシ
明治四十年五月一日
關東都督 男爵大島義昌

6-0010

告示第三十號
旅順水道事務所
旅順新市街海岸通二丁目
關東都督府內
大連
明治四十年五月七日
關東都督 男爵大島義昌

告示第三十號

旅順及大連水道給水規則第二條ニ依リ旅順給水區域左ノ通相定

明治四十年五月七日

關東都督 男爵大島義昌

旅順舊市街

乃木町一、二、三、四丁目、朝日町ノ内東洋橋ヨリ停車場ニ至
ル間巖島町、東郷町、下ノ關町、伏見町、伊知地町一、二丁目、
土屋町、一、二丁目、秋津洲町、高知町、九龜町、松山町二、
三丁目、出雲町、大坂町(一部)、八雲町、鯨島町一、二(一部)、
三丁目、筑紫町二丁目、金澤町、弘前町、一戸町(一部)

旅順新市街

桃園町(一部)、金比羅町、高崎町(一部)、紅葉町、深雪町、佐倉
町(一部)、常盤町、二丁目、月見町、花月町、露町、松村町
一(一部)、三丁目(一部)、旭川町二、三、四丁目、千歲町(一部)
大迫町(一部)、二、三丁目、中村町二丁目(一部)、金春町(一
部)、葛浦町(一部)、海岸通二、三丁目、青柳町(一部)

6-0010

0266

告示第三十三號
 旅順電燈使用規則第二條ニ依リ旅順電氣供給區域左ノ通相定ム
 明治四十年五月七日 關東都督 男爵大島義昌
 旅順舊市街
 東町、博多町、藤田町、柳町、池月町、朝顔町、霞町、幸町、櫻岡町、
 筑紫町、巨港町、白金町、黒金町、新市場、川端町、谷町、松山町、
 一、二、三丁目、九輪町、高知町、吉原町、淺間町、秋津洲町、磐手
 町、津島町、三、四丁目、笠置町、出雲町、大坂町、伏見町、
 伊知地町、二丁目、大津町、忠海町、名古屋町、青葉町、末廣町、
 放鷹町、錦江町、初瀬町、伏見町、三笠町、八島町、嚴島町、東郷町、
 三笠町、三、四丁目、朝日町、三丁目、大島町、
 三笠町、旅順新市街、金出澤宮中、金出澤、
 桃岡町、金比羅町、高崎町、沼戸町、深雪町、紅葉町、大迫町、
 三丁目、白菊町、傍園町、花月町、松月町、常盤町、吾妻町、對馬町、
 松村町、一、二、三、四丁目、中村町、一、二、三丁目、千歲町、扶桑町、
 初音町、祇園町、金春町、壽町、鎮遠町、露町、月見町、青柳町、
 霧島町、明治町、旭川町、一、二、三、四丁目、西太陽海軍馬補充所
 附近

鮫島町一三三丁

告示第三十四號
 明治四十年四月府令第二十一號旅順及大連水道給水規則第三條ニ
 依リ旅順水道供用水栓ニ限リ當分ノ内午後八時ヨリ翌日午前五
 時マテ給水ヲ停止ス
 明治四十年五月七日 關東都督 男爵大島義昌

給

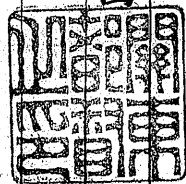
6-0010

明治四十年五月廿一日 陸軍省 主官 政務局

關東都督府令 第三十九號 告示第三十五號 發布候 二付別紙及報告候也

明治四十年五月十四日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

Handwritten signature: 林董殿

Handwritten signature: 大島義昌

明治四十年七月三十一日 陸軍省 主官 政務局

關東洲民政署

府令第二十八號
 關東都督府陸軍軍法會議設置及其管轄區域左ノ通相定ムル事
 明治四十年五月十四日 關東都督 男爵大島義昌

第一條 關東都督府陸軍軍法會議設置及其管轄區域ニ關スル規程
 第一條 明治四十年四月法律第四十六號ニ依リ旅順及遼陽ニ關
 東都督府陸軍軍法會議ヲ設ケ旅順ニ在ルモノヲ關東都督府旅
 順陸軍軍法會議ト稱シ遼陽ニ在ルモノヲ關東都督府遼陽陸軍
 軍法會議ト稱ス

第二條 軍法會議ノ管轄ハ沙河以南ニ於ケル被告事件ハ旅順ニ
 於テ沙河以北(沙河ヲ除ク)及安奉鐵道沿線ニ於ケル被告事件
 ハ遼陽ニ於テ審判ス管轄不明ナルトキ若ハ重複スルトキ關
 東都督府ニ於テ指定ス

第三條 旅順ニ於テ管轄スル被告事件ハ具申書類及被告人ヲ關
 東都督府ニ於テ遼陽ニ於テ管轄スル被告事件ハ第十四師團法
 官部ニ於テ之ヲ受理ス

第四條 本令ハ明治四十年五月十六日ヨリ之ヲ施行ス

6-0010

6-0010

告示第三十五號
 關東都督府管内ノ標準時ハ明治四十年五月十六日ヨリ帝國西部
 標準時ニ據ル
 明治四十年五月十四日
 關東都督 男爵大島義昌

府令第二十九號
 關東州地方費合算表依テ收入金又ハ仕拂金計算方左ノ通相定ム
 明治四十年五月十四日 關東都督 男爵大島義昌
 第一條 關東州地方費ニ屬スル收入金又ハ仕拂金ニ一錢未滿ノ
 端數アルトキハ之ヲ切捨ツ地方税ノ課税標額額ニ付テモ亦同
 第二條 法規又ハ行政ノ處分ニ依リ分納ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ
 分納額ニ一錢未滿ノ端數ヲ生スルトキハ其ノ端數ハ最初ノ分
 納額ニ合算ス
 附則
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



明治四十年五月廿七日發受 主官 政務局

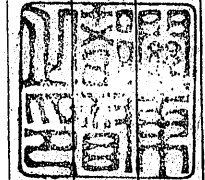
官文第 五三二 號

當府告示第 三十一 號
紙及報告候也

發布候 = 付別

明治四十年五月二十日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

人事 由是

會計

印

本

四十二年七月三十一日記録編纂接受

關東洲民政署

6-0010



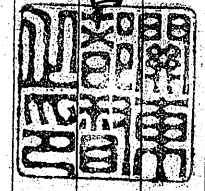
明治四十年五月廿九日接電 善管政務

官文第五三〇號

當府訓令第三十八號告示第三十七號 發布候ニ付別紙及報告候也

明治四十年五月三十一日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林董殿

人事

會計

印

關東都督 大島義昌



四十年六月十四日

訓令第三十八號

民政部

明治四十年四月訓令第三十四號別冊明治四十年度關東州地方費收入支出科目表中支出臨時部未位三事業費ノ款新營及修繕費ノ項官房文書科記録倉庫新營、民政部財務課倉庫新營、民政部職員共同浴室及休息室外三新營、職員官舎新營、家屋買收ノ目ヲ設置ス

明治四十年五月二十二日

關東都督 男爵大島義昌

6-0010

告示第三十七號
 關東都督府郵便電信局及同支局所ニ於テハ毎日左ノ時間内郵便
 電報受附電話通話郵便爲替郵便貯金及郵便取立金ノ受拂事務ヲ
 取扱フ但シ韓國ニ對スル電話通話時間ハ左記開始及終了時間ヲ
 各一時間繰上ク
 明治三十九年十月告示第二十號及明治四十年告示第九號ハ本月
 十五日限り之ヲ廢止ス
 明治四十年五月十六日 關東都督 男爵大島義昌

郵便電報附及電話通話時間
 三月一日ヨリ十月三十一日迄午前六時ヨリ午後十時ニ至ル
 十一月一日ヨリ翌年二月末日迄午前七時ヨリ午後十時ニ至
 軍事官報外國官報及至急電報ニ限り時間外ト雖モ之ヲ受付ラ
 爲ス
 郵便爲替郵便貯金及郵便取立金受拂事務取扱時間
 三月一日ヨリ七月十日迄午前八時ヨリ午後四時ニ至ル
 七月十一日ヨリ九月十日迄午前八時ヨリ正午十二時ニ至ル
 九月十一日ヨリ十月三十一日迄午前八時ヨリ午後四時ニ至
 十一月一日ヨリ翌年三月末日迄午前九時ヨリ午後四時ニ至
 日曜日大祭祝日ニ於テハ正午十二時限リトス



明治四十年五月廿九日發

官文第五三九號

當府府令第三十號
 紙及報告候也

明治四十年五月二十四日

關東都督男爵大島義昌

外務大臣子爵林 董殿

Handwritten notes and signatures in vertical columns:
 人書 (Person's name)
 會計 (Accounting)
 大島 (Name of the official)

四十二年七月二十一日記録

關東洲民政署

6-0010

銀行營業取締規則

府令第三十九號
銀行營業取締規則左ノ通相定ム
明治四十年五月二十五日 關東都督 男爵大島義昌
第一條 關東都督府管内ニ於テ銀行業ヲ營ムルモノハ
關東都督ノ指定スル資本額ヲ具シ其ノ許可ヲ受ケテ又
資本額關東都督府ニ銀行ノ業務又ハ財產ノ狀況ニ關シ監督上必
要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ
第二條 銀行營業上法外ノ規定ニ特ニ命ジタル事項ニ定額又ハ
組合規約ニ違反シ又ハ公益ヲ害スベキ行爲アリト認めルモノ
本關東都督府其ノ業務ノ全部又ハ一部ヲ停止シ命ジ又ハ其ノ
許可ヲ取消スルコトヲ得
第三條 銀行ノ規定ニ違反シ關東都督府ノ許可ヲ受ケテシテ銀
行業ヲ營ムルモノハ其ノ營業主會社ノ業務ヲ執行シル社員取
締役又ハ支店代表者ヲ二百圓以下ノ罰金ニ處スルコトヲ得
第四條 附則ニ於テ規定スル事項ハ本規則ニ依リテ之ヲ施行ス
本令公布ハ日ヨリ之ヲ施行ス

訓令第三十九號

本署ハ關東都督府管内ニ於テ銀行業ヲ營ムルモノハ其ノ
資本額關東都督府ニ銀行ノ業務又ハ財產ノ狀況ニ關シ監督上必
要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ
明治四十年三月訓令第十七號別冊明治四十年度關東都督府特別會
社成立出科目表中表出額部第三款關東都督府第一項條給及
諸給第六日死亡賜金ノ次位ニ關シ員手當天賜給及賞與ニ
ノ目第二款法第三項條給及諸給第六日死亡賜金ノ次位ニ賞
與ノ目第三款遺贈地警察費第三項條給及諸給第五日死亡
賜金ノ次位ニ賞與ノ目第四款遺贈地警察費第三項條給及諸給第五日
死亡賜金ノ次位ニ林賦條給及賞與ノ目ヲ設置ス 帝國人
明治四十年五月二十八日 關東都督 男爵大島義昌

6-0010

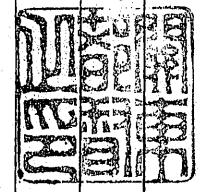
府令第三十二號
 關東都督府ノ歳入歳出ニ銀ヲ用キル場合ハ別ニ定ムル換算率ニ依ル
 本令ハ明治四十年六月二日ヨリ之ヲ施行ス
 明治四十年五月二十九日 關東都督 男爵大島義昌

明治四十年六月八日接獲
 關東都督府文書第五七八號

當府府令第三十三號訓令自第百四十一號至第百四十二號告示自第百三十九號至第百四十一號發布候ニ付別紙及報告候也

明治四十年六月三日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

人事課

會計課

分納

手付

關東洲民政署

四十年六月廿三日已錄編

6-0010

府令第三十三號
明治四十年一月府令第四號關東都督府民政部土木課大連出張所規程第一條中第四號ヲ削除ス
明治四十年六月一日
關東都督 男爵大島義昌

訓令第四十號
關東都督府郵便電信局本溪湖支局電報取扱種別左ノ通相定ム
明治四十年六月一日
取扱種別 内外國和歐文電報

6-0010



訓令第四十二號
○官東總督 訓令第四十二號 出給同二十一日 郵便局
明治四十年五月三十一日限り軍用電報規則ニ依り滿洲發着國書
及滿洲内發着軍事電報ノ取扱ヲ廢正ス
明治四十年六月一日 關東都督 男爵大島義昌

訓令第四十二號
○官東總督 訓令第四十二號 出給同二十一日 郵便局
明治四十年五月三十一日限り軍用電報規則ニ依り滿洲發着國書
及滿洲内發着軍事電報ノ取扱ヲ廢正ス
明治四十年六月一日 關東都督 男爵大島義昌

6-0010



告示第三十九號
 明治四十年六月四日
 關東都督府郵便電信局左記支局ヲ廢止
 但シ當該支局ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記支局之ヲ承繼ス
 明治四十年六月一日
 關東都督 男爵大島義昌
 名ニ稱シテ出火稱日手給位一職世依繼承人高橋繼次郎因夫
 關東都督府郵便電信局 滿洲州 關東都督府郵便電信局 三
 連山關支局 連山關支局 草河支局

告示第四十號
 明治四十年六月六日
 關東都督府郵便電信局本溪湖支局ニ於
 テ電信事務ヲ取扱フ所關ニ五箇ノハコトヲ禁止スル
 明治四十年六月廿日
 關東都督 男爵大島義昌

6-0010



告示第四十一號
 歲入歳出ニ用キル銀貨及銀票ノ價格ヲ明治四十年六月二日以降
 銀一圓ニ付金一圓ニ變八厘下定ム
 明治四十年六月一日
 關東都督 男爵大島義昌
 兼金一圓一錢八厘論 宣讀此示仰屬各官人等取

明治四十年六月十三日

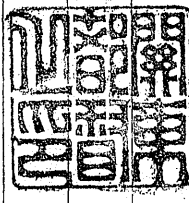
關東都督 男爵大島義昌

上ノ五

當府府令自第... 訓令第... 發布候ニ付別紙及報告候也

明治四十年五月五日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

人事

會計

關東都督 男爵大島義昌

西十年六月廿二日記録編纂

關東洲民政署

6-0010

6-0010

0284

訓令第四十四號

圓銀又ハ銀票ヲ金庫ニ拂込ムトキ又ハ田納官更現金取扱規則第十七條ノ場合ニ於テ領收金カ圓銀又ハ銀票ナルトキ現金拂込書(領收書及通)又ハ監守證ノ金額ノ左傍ニ左ノ加分ノ換算率ノ異ナル毎ニ別記スベシ

金何程 一圓銀貨何枚換算率何程
 金何程 銀票 何枚換算率何程

明治四十年六月一日 關東都督 男爵大島義昌

第4門

明治四十年五月十七日 起草
同日發達

玉洞 主任

取務局

松本

キリコ

本件は内務省取務局に属す

省議

省議ノ決定ヲ要スル件

関東都督官制ニ係ル三項ノ解釋ニ就キ

定シタル條項ニシテ其文左ノ如シ

外務省

都督ハ関東州ヲ管轄シ茲南滿洲ニ於テ鐵道線路ノ保護及取締ノ事ヲ掌ル

右ノ條項ニ係ル如ク関東都督ハ関東州内ニ於テ一般管轄

権ヲ有スルハ関東州外ニ於テ南滿鐵道線路ノ保護及取締

ヲ為ス權限ヲ有セリ^{此レ}関東都督存ニ於テハ鐵道線路ノ保護及

取締ノ事ハ度々鐵道附屬地内ニ於テ各般ノ整頓整頓ノ權ヲ包含

スルモノト解釋シタルカ^{如ク}本年四月二十七日公布ノ存令ニ

6-0010

六號ヲ以テ若干ノ関東都督府令及関東州長官署名ヲ以テ
東州外南^{滿州}鐵道附屬地ニ適用スルコトナリ

奪スルニ官制ニ不得鐵道線路ノ保護取締ノ事ヲ掌シルハ
鐵路ノ安全ヲ保持シ且運輸因行ニ妨スル者宮ヲ防遏スルニ
意義ヲ以テ鐵道沿線一帯ノ地ニ於テ交通取締ノ權限
ヲ謂フ外ノラス故ニ都督府令ヲ以テ六號ニ立入ルカ如ク莫ク
却テ都督カ鐵道附屬地内ニ於テ一般取締ノ權限ヲ行使
スルハ官制上ノ根據ヲ欠缺ス越權ノ行為ト認ハサルカラス
以上ノ理由ニ因リ都督府官制ノ規定ニ変更^{ノ事}アル以上都督
府令ヲ以テ六號ハ取消ヲ要スモト認ム

外務省

因ニ南滿州鐵道附屬地内ニ居住スル德國人其他外國人ハ
果シテ若シテ取締ノ權限ニ服従スルヲ要スルモノナリヤ否ヤ問題ヲ解
決スルニシテ今日都督府令ヲ以テ六號ノ規定アリトテ同令申列^ニ奉^ル也
都督府令及長官署名ヲ以テ六號ノ附屬地内ニ適用スル人其他ノ外



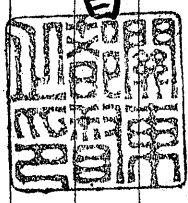
明治四十年六月十八日 警政務

關官文第五九三號

當府訓令第四十五號 第四十六號 告示 第五號 告示 第六號 告示 第七號 告示 發布候ニ付別紙及報告候也

明治四十年六月十一日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

人事

會計

その他

大島義昌

關東都督 民政署

明治四十年七月三日

訓令第四十五號

明治四十年三月訓令第十七號別冊明治四十年度關東都督府特別會計歲入歲出科目表中歲入經常部第一款關東都督府歲入第三項官業及官有財產收入第五目囚徒工錢及製作收入ノ次位ニ郵便收入ノ目付ノ設置等事

官 民 民 官
政 政 政 政
部 署 署 部 房
郵 便 電 信 局
法 警 民 民 官

關東都督 男爵大島義昌

6-0010

6-0010

告示第四十二號 証 帳
 前出出冊上ノ銀貨及銀票ノ價格ヲ明治四十年六月九日以降
 銀 圓ニ付金計價ニ從テ定メ
 明治四十年六月八日 關東都督 大島義昌

入 歳

訓令第四十六號
 明治四十年四月訓令第三十四號明治四十年度關東州地方費收入支
 出科目表支山臨時部第三款事業費第一項新營及修繕費ノ末位
 目ヲ設置ス
 關東都督 男爵大島義昌
 明治四十年六月八日

碎石機械置場及据付費





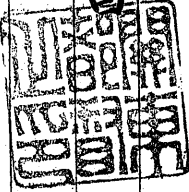
明治四十年六月廿日發單 王管 政務局

第五九二號

當府訓令第四百七號 發布候ニ付別紙及報告候也

明治四十年六月十三日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

白

四十年七月十七日發單

關東洲民政署

告諭第二號 式部省關東都督府發單 式部省發給

關東州ノ山地ニ生育セル松樹ニシテ其ノ被害ノ最モ恐ルヘキハ
 松枯蟬ノ害ナリ若シテ其ノ被害ニ遇ストキハ稚樹ハ全滅シ成
 樹ト雖萎縮シ遂ニ豫期ノ生育ヲ爲ス能ハズルニ至ル抑モ該虫ハ
 春暖ニ至リテ其ノ潜伏個所ヨリ現出シ六月ノ頃粗爾ラ營ニ蟬ト
 成リ七月ニ至リ化シテ蟻ト成リ松樹ノ梢部ニ産卵シ蟻化シ
 ラ松枯蟬ト成リ松樹ヲ侵害スルモノナレハ其ノ驅除ヲ行フハ蟬
 ト成リテ蟬内ニ蟻息スル時若シ蟻化ノ當時ニ在リ即チ六月、七月
 ノ候ヲ以テ延期トナス故ニ自今一、二ヶ月ハ最モ必要ノ期間ナ
 ルヲ以テ各自周到ノ注意ヲ爲シ苟モ其ノ被害ヲ發見セルトキハ
 直チニ官ニ通報シテノ驅除方法ニ就キ指揮ヲ待テ之ヲ撲滅ヲ圖
 ルコトヲ期スヘシ

明治四十年六月八日 關東都督 男爵大島義昌

4

長 文書 檢印

九三三〇



4

6-0010





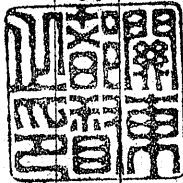
明治四十年六月廿四日接覽

官文第六一號

當府訓令至第百四十八號告示第百四十三號發布候ニ付別紙及報告候也

明治四十年六月十七日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董殿

人吉あき

會計 所 御 封

關東洲民政署

四十年七月十日記録編纂

訓令第四十七號

郵便電信局 測候所

明治三十九年九訓令第二十八號測候所事務規程第二條及同年十訓令第五十四號氣象電報取扱假規則第六條中左ノ通改正ス

明治四十年六月十三日 關東都督 男爵大島義昌

測候所事務規程第一條中「中央標準時」ヲ「西部標準時」ニ改メ六回觀測ノ下ニ「及午前五時、午後二時、午後九時ノ三回觀測」ヲ加フ

氣象電報取扱假規則第六條中「午前六時」ヲ「午前五時」ニ改メ「午後三時」ヲ「午後二時」ニ改メ「午後十時」ヲ「午後九時」ニ改ム

生

九

4

6-0010

訓令第四十八號 郵便電信局
 關東都督府郵便電信局監視員旅費規則左ノ通相定ム
 明治四十年六月十五日 關東都督 男爵大島義昌
 關東都督府郵便電信局監視員旅費規則
 第一條 監視員及其ノ代務者外勤監視ノ爲巡回スルトキハ在勤
 廳所在地ハ日額十五錢所在地外ハ日額三十錢ノ車馬賃ヲ支給
 ス但シ在勤廳所在地ニ近接スル地區ハ所在地ニ準シ其ノ日額
 車馬賃ヲ支給スルコトヲ得
 第二條 在勤廳所在地ノ内外ヲ通シテ巡回スルトキハ所在地外
 ノ日額車馬賃ノミヲ支給ス
 第三條 在勤廳所在地外巡回中宿泊シタルトキハ日額車馬賃ノ
 外一泊ニ付宿泊料三圓ヲ支給ス
 附則
 本令公布後之ヲ施行ス 關東都督 男爵大島義昌

訓令第四十九號 大島義昌ノ對シテ之ヲ相定ム
 明治四十年六月十五日 關東都督 男爵大島義昌
 關東都督府郵便電信局監視員旅費規則
 明治四十年訓令第十七號別冊明治四十年度關東都督府特別會
 計歲入歲出科目表中歲出經常部第二款法院費第三項俸給及諸給
 第七目賞與次位ニ「囑託員手當」ノ目ヲ設置ス
 明治四十年六月十五日 關東都督 男爵大島義昌

6-0010



訓令第五十號
 郵便電信局
 關東都督府郵便電信局大連支局大棧橋出張所電報取扱種別左ノ
 通相定ム
 明治四十年六月十五日 關東都督 男爵大島義昌
 取扱種別 内外國和歐文電報

告示第四十三號
 明治四十年六月十六日ヨリ左記支局出張所ヲ設置シ下記ノ事務
 ヲ取扱フ但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス
 明治四十年六月十五日 關東都督 男爵大島義昌
 名 稱 位 置 取扱事務
 關東都督府郵便電信局 大連支局 大棧橋出張所 電報
 大連支局 大棧橋出張所 電報

大棧橋

6-0010

0293



明治四十年六月廿七日接覽

王管 政務司

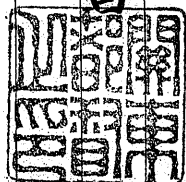
會計課

關官文第 六一一 號

當府訓令 到 勅 五十一 號 發布候ニ付別紙及報告候也

明治四十年六月二十五日

關東都督男爵大島義昌



外務大臣子爵林 董 殿

人妻 董

會計 董

如 此

手 記

四十年七月十日記録編纂

關東洲民政署

告示第四十四號
明治四十年六月廿六日ヨリ當分ノ内關東都督府郵便電信局爲替
及貯金以視業務ハ大運支局ニ於テ之ヲ取扱フ
明治四十年六月十五日 關東都督 男爵大島義昌

郵便電信

4
K

6-0010

0294

訓令第五十三號

民 政 部 署

明治四十年四月訓令第二十四號別冊明治四十年度關東州地方費收入支出科目表中歲出經常部第二款第一項第三目弔祭料ノ次位ニ「一時賜金」ノ目及同臨時部第三款第一項第六目碎石機械置場及据附費ノ次位ニ「金州市場新築」各所修繕ノ目ヲ設置ス

明治四十年六月二十日

關東都督 男爵大島義昌

6-0010

0298